

NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名
1	池尻こどもマラソン大会実行委員会	39	おはなしカラフル	77	二子玉川地区交通環境浄化推進協議会	116	ユニバーサルデザインスタンプラリー実行委員会
2	池尻祭典会	40	世田谷代田SAP	78	二子玉川ライズT&Rおさんぽパトロール隊	117	世田谷区立八幡山小学校おやじの会
3	NPO法人 花植え隊	41	代田睦会	79	正しいラジオ体操普及隊	118	親水テラス音楽会実行委員会
4	サポートなごみ	42	小径のノエル実行委員会	80	「こどもとわたし」「元気の日」	119	特定非営利活動法人 芦花公園 花の丘友の会
5	三宿小おやじの会	43	東北沢睦会	81	桜新町親和会	120	芦花サポーターズ
6	三宿町会 三粋会	44	健康ウェンズディ運営委員会	82	NPO法人 世田谷スポ・レクネット	122	鳥山地域あいさつキャンペーン 推進委員会
7	なかざとアシスト隊	45	松原5・6丁目自治会	83	東深沢小学校 おやじの会	123	給田小わんわんパトロール
8	中里みまもり隊	46	松原三・四丁目自治会	84	深沢・桜新町さくらフォーラム	124	桐の会
9	レッツゴー太鼓	47	松原二丁目町会	85	深沢ぎんなんまつり実行委員会	125	コーシャハイム千歳鳥山連携の会
10	若林クラブ	48	赤堤1丁目町会	86	みしまの森学舎 あいさつ運動推進委員会	126	上北沢小学校おやじの会
11	若林町会	49	赤堤に文化を！六所の森の会	87	みんなのコミュニティさくら	127	地域のきずな実行委員会
12	IBASHO	50	特定非営利活動法人せたがや オルタナティブハウジングサ ンギ	88	祖師谷子育てネットワーク「そこだ ね」	128	チーム鳥山音楽事業部
13	駒沢給水塔風景資産保存会	51	奥沢地誌保存会	89	祖師谷子ども健全育成の会	129	八幡山青年会
14	桜町会	52	子ども少年団を育てる世田谷 センター	90	一宮庵成城クラブ		
15	さくらっ子体験教室事務局	53	玉川田園調布防犯パトロール隊	91	成城フラワーメイト		
16	世田谷区立桜小学校おやじの 会	54	尾山台小学校おやじの会	92	千歳小学校PTA		
17	松丘町会	55	玉堤小コミュニティ	93	法人格 成城自治会		
18	経堂アトリエ	56	等々力小おやじの会	94	「子どもぶんか村」発表会実行委 員会		
19	経堂小学校おやじの会	57	等々力の歴史を語り継ぐ会	95	NPO法人世田谷ぶんか村PLACE		
20	桜丘小学校図書室開放運営委 員会	58	おでかけサポーターズ	96	希望丘小学校 とと会		
21	桜丘すこやか体操クラブ	59	特定非営利活動法人ら・ら・ら	97	子ども広場実行委員会		
22	じゅんかんチャレンジ桜丘推進 協議会	60	中町4・5丁目町会 防犯部	98	デ・パンドス		
23	世田小地域ネット「いぶき」	61	ベッ防災せたがやネットワーク	99	バージの会		
24	タウンズエイト	62	ボレボレフォト	100	船橋会		
25	特定非営利活動法人せたがや 防災士会	63	大山みちおこし委員会	101	船橋小学校オヤジの会		
26	宮坂楽々倶楽部	64	上用賀一丁目まちづくり協議会	102	学び場いとをかし		
27	世田谷ゴミ拾い研究所	65	用賀地区町会連合会	103	ミニコミ「ちとせ」編集委員会		
28	繋組	66	陽果会	104	船橋希望中おやじの会		
29	上馬東町会	67	アクティブチャイルドクラブふたこ	105	NPO法人 砧・多摩川あそび村		
30	グループippo	68	お舟会	106	うなかふえ		
31	小泉公園ふれあいフェスタ実行 委員会	69	スマイルひろば	107	喜多見わんわんパトロール隊		
32	梅丘1丁目町会	70	瀬田町会	108	砧南グリーンズ		
33	城山小学校オヤジの会	71	せたぼん・瀬田の本棚	109	野川ドッグエリアの会		
34	池ノ上イメーションアップ推進協 議会	72	せたま	110	【ご当地】家族会		
35	震災時における地域社会の役 割を考える会	73	TAMAGAWA BREW 事務局	111	NPO煌めく返り花		
36	世田谷伝統芸能に親しむ会	74	特定非営利活動法人 せたがや 水辺デザインネットワーク	113	砧町町会		
37	代沢子育ておうえんだん	75	ニコッタまつり実行委員会	114	砧むらおばちゃん会議		
38	代沢こども広場	76	二子玉川大山みちフェスティバ ル実行委員会	115	給田町会		

No.1 団体名 池尻こどもマラソン大会実行委員会	事業名称 池尻こどもマラソン大会
補助金使用額 238,620円	内 容 地域の小学生たちが、地元の様々な大人たちに囲まれ、応援され、地域の道路や公園を使ったマラソンコースを思い切り走ることにより、健康を保ち、小学生時代の記念に残るようなイベントになればと思います。 7年前より複数校での開催となり、参加人数も大幅に増えております。また学校単位での競い合いができる事により、仲間を応援する意識が生まれ、活気ある大会となっております。
補助事業に要した経費 452,642円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 第9回以降コロナウイルスや開催場所の池尻小学校の校庭工事のため4年間中止されていたが、やっと開催することができた。参加児童は200人を切っていたが、お手伝いの保護者にも事前のリハーサルから安全確保の徹底をお願いし、幸い事故無く大会を運営できた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.2 団体名 池尻祭興会	事業名称 池尻お囃子こども教室
補助金使用額 85,845円	内 容 江戸祭り囃子を伝える人間国宝の4世門下の講師に指導してもらい池尻稲荷神社祭礼またガヤガヤ村まつり、青少年池尻地区委員会主催のこども餅つき大会で演奏する。
補助事業に要した経費 108,635円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年の事業の目的であった青少年池尻地区主催の子どももちつき大会での演奏ができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.3 団体名 NPO法人 花植え隊	事業名称 高齢者が生き生き暮らせるまちづくり
補助金使用額 173,973円	内 容 植栽や花の管理・水やりの作業を、通所者、町会・高齢者クラブ、保育園・幼稚園の園児や学校の生徒、PTA、その他の市民団体など多くの人々と共同で行うことにより、地域と交流を図り、暖かな繋がりを求めていく。ニューズレター、チラシ等の発行、自治会掲示板での活動の案内等を通じて、この活動の周知を広げると同時に、その拡大を目指す。
補助事業に要した経費 303,517円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 年二回、四か所の高齢者施設の敷地内に花を植え、御利用者やスタッフの協力を得ながら、週一回の訪問により花の維持・補給・管理を実施した。それによって年間を通じて花のある環境を提供すると同時に施設の御利用者やスタッフ、周辺住民との交流を通じて繋がりを深めることが出来た。また、「世田谷みどり33」運動に協賛し、世田谷線沿線の花壇に花を植え、そのお世話をした。 年二回のニューズレターを発行し、活動の継続の周知に務めた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・連携団体の主催する事業でチラシ等を配布し、説明した。また、昨年に引き続き「世田谷みどり33」運動の、街の緑化活動に協力、参加した。

No.4 団体名 サポートなごみ	事業名称 高齢者が自分らしく地域でいきいき生活できる様サポート
補助金使用額 54,704円	内 容 ・買い物が困難な人や引きこもりがちな方に、高齢者施設の車を空き時間を活用し三軒茶屋周辺にある大型店舗、行政、金融機関への送迎をボランティアによる付き添いを行い日常生活の買い物や外出のきっかけづくりを支援する「おでかけサポート」 ・地域住民同士のコミュニティのつながりに結びつける交流会への活動を行う
補助事業に要した経費 66,704円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 年間予定表に従ってほぼ実施できた。 団地敷地内に移動販売車が毎週来ることになり参加者減
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.5 団体名 三宿小おやじの会	事業名称 地域の子供、住民が愛着を持てる街づくりを意識して地域社会の繁栄を目指す
補助金使用額 176, 443円	内 容 三宿小学校に在校中あるいは在学していた子供の父親を中心メンバーとして活動しています。コロナ感染による制約が無くなって、行事が徐々に始まっています。今年は運動会後片付けやもちつき大会の手伝いを計画しており、8月のアドベンチャーin多摩川では参加者といかだづくりをしています。
補助事業に要した経費 177, 666円	太子堂神社の祭りでは太子堂2丁目大塚町会と連携を図り、共に子供みこしの引率や大人神輿の引率補助を行います。三宿小もちつき大会ではPTA・地元住民とともにもちつき運営を行います。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 例年通りに活動ができ、花火大会を初めて実施して、多くの子供に喜んでいただけた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.6 団体名 三宿町会 三杵会	事業名称 地域と人が繋がる継承と発展「温故知新」
補助金使用額 236,195円	内 容 11月ギンナン体験会は近隣住民の皆様と三宿神社のギンナンを拾って食べるまでの処理を行い、参加者、スタッフの絆を深める。6月と11月に三宿神社にて地域の方々によるフリーマーケットを開催。
補助事業に要した経費 241,800円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 減少傾向にある町会恒例行事に、少しずつではあるが新しい参加者が増え、コロナ禍以前の活動も取り戻せたと実感している
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.7 団体名 なかざとアシスト隊	事業名称 世代を超えて体験を共有する化学反応プロジェクト
補助金使用額 242,498円	内 容 ①新入生の給食配膳支援：担任以外にも関わってくれる大人たちがいることを知り、安心してもらう ②手話講演・体験会：DVDの貸し出しによる啓蒙以外に、実際に体験したり、ろう者の方のお話を聞いたりすることで経験値を上げ、同じサインを共有することで地域でのコミュニケーション力UPを図る。 ③NAKAZATO Hiバッジ：子どもの挨拶体験値を上げ、大人も互いに共有確認することで地域の防犯力UP、コミュニケーション力UPに役立てる。 ④地域の方々の作品展：年齢に関係なく幅広い層に鑑賞いただける場の開発。作品を通して互いに気づき感動し合える場の提案。 ⑤絵本作家の講演：子どもから大人まで「命」「巣立」「親子の関係」など、世代を超えた共有の学びの場を提供。
補助事業に要した経費 246,048円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A その理由 NAKAZATO Hiバッジのコンセプトを改めて周知、多くの方々に利用いただけた。 17年間続いた中里おはなし会をリニューアルしたことにより、読み手の方々が増え、子どもたちとの交流が進んだ。 地域の絆展覧会がプレ展を経て公募形式として告知、参加の方々の幅が広がった。子どもたちの作品とコラボレーションすることで、大人と子どものそれぞれの関心・興味・交流が広がった。 手話が子どもたちの中で定番化がすすみ、今後の歴史の継承ができつつある。 講演会は昨年に続き大好評。大人も子どもも心に響く感動の時間となった。 給食配膳ボランティアは、システムが構築されて来て、監督だけで大丈夫に。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.8 団体名 中里みまもり隊	事業名称 子どもたちを地域全体で犯罪から守ります
補助金使用額 182, 213円	内 容 ・防犯マップを作成し、「こどもをまもろう110番」の協力店や危険な場所を記載することで子どもたちへの啓蒙活動に役立てたり、どこが協力店なのかを地域全体で共有する。 ・協力団体に「防犯パトロール」と記載されたストラップを配布し身につけてパトロールしてもらうことでいざというときの保護や犯罪抑止に役立てる。
補助事業に要した経費 182, 213円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 スケジュールがやや遅れ気味ではあったが、当初予定していたことは概ね実行できた。またトラブルや事件もなく子どもたちの安全を確保することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.9 団体名 レッツゴー太鼓	事業名称 和太鼓で地域を元気に！
補助金使用額 108,640円	内 容 日本の伝統楽器の和太鼓を練習し、地域の行事に参加できるようにする。そのために、原則月1回、三軒茶屋小学校で練習する。地域の行事に参加する。
補助事業に要した経費 214,713円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 コロナ禍で活動を2年間休止していたにもかかわらず、新しい参加者を多く迎えられた。反面6月からの練習で、夏のお祭りなどの地域行事に参加するだけの演奏ができず、出演を見送らざるをえなかった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.10 団体名 若林クラブ	事業名称 第 8 回若林クラブフェスティバル(若フェス)
補助金使用額 107,866円	内 容 舞台イベントとして、若林クラブの参加団体のよさこい鳴門踊り、チアダンス、太極拳による演舞、参加団体の野球、サッカー、ミニバスケット、茶道の指導者からの体験教室、セパタクローの親善試合の観戦コーナー。5月から誰でも参加してもらえるボッチャの練習会を定期的に行っているため、トーナメント制でのミニボッチャ大会。落語家さんをお呼びして落語にまつわる話を聞く落語講演会。
補助事業に要した経費 184,210円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 とても寒く、悪天候の中でも、予想以上の方の参加があり、けが人もなく無事開催できたこと。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・小学校・中学校全クラスでのチラシ配布

No.11 団体名 若林町会	事業名称 人と人とのつながり・絆を結び、地域力を増すための地域の絆連携強化推進事業
補助金使用額 184, 003円	内 容 若林地域と周辺近隣と連携・交流・共助する”ネットワーク防災”活動をする。 防災情報の発信と啓発を進め、地域防災力、対災力をさらに強化する。 防災の専門家と連携し防災知識の学びと演習の場を提供する。大学などと連携し子どもの命を守る防災授業を実施する。町会案内パンフレットを作成し、町会活動を分かりやすく住民の皆様にしていただき新規に引っ越してきた人などに読んでもらい町会加入促進を図る。対外的にも広報ツールとして活用する。ホームページで地域行事などの情報を発信、各分野の活動広報・啓発を通して、住民が自分らしく暮らし続けていける地域と絆を広げ、強めていく。 若林町会5丁目に特化した防災LINEによる情報発信により地域防災力強化を行う。
補助事業に要した経費 293, 139円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 パンフレットの制作時期が12月から3月ぎりぎりまでずれ込んだ面もあったが仕上がりは想定通りとなったと思います。新年度にむけて大いに地域の絆連携活性化、町会加入の促進に活用できると思います。あとの項目は全て計画通り実施できました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・国士舘大学の協力、若林小学校との連携の深まり

No.12 団体名 IBSHO	事業名称 つるまき・子どもの声ネットワーク
補助金使用額 226, 010円	内 容 この事業は、子どもを核に地域の大人たちがつながり合い、育ち合える土壌をつくるために、「子どもの声を聴く」「子どもの支援者の声を聴く」「子どものくやりたい」を支援する」「繰り返し学び合える場をつくる」「聴こえた声を共有し、行政へ届ける」といった実践をし、そのことを各メンバーが属する「学校運営委員会」「遊び場開放委員会」「避難所運営委員会」「新BOP連絡協議会」などに向けて話題提供します。また年度ごとに、地域の子どものたちの声を報告書にまとめ、地域内外や行政に共有していきます。
補助事業に要した経費 226, 597円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 子どもおよび子育て当事者の活動は計画どおりに進まないことも多いが、事業が目標としているところは見失わずに、その時できることをやり切った。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.13 団体名 駒沢給水塔風景資産保存会	事業名称 駒沢給水塔を中核として水道歴史遺産の保存活用
補助金使用額 148,089円	内 容 駒沢給水塔は世田谷の地域風景資産として、保存活用を続けていくため色々な活動をしてPRする。近隣の小学校4校の給水所構内見学をして古い建造物を通じて給水歴史を学習してもらう。「双子の水の塔」「構内マップ」コマQ作成資料(絆補助金による)を配布。土木学会により選奨土木遺産に認定されたこと、さらに進めて文化庁有形登録文化財の認定になるため”連続有形登録文化セミナー”を開催しPRを行う。地域のイベントに参加し、給水塔の当時100年前の工事写真等を展示しています。年4回発行している「双塔新聞」により色々な情報を発信しています。
補助事業に要した経費 193,799円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 計画していた小学校4校の給水所構内見学を学校と水道局と調整し行った。 昨年に続き、世田谷ポロ市12月1月開催に出店しPRが出来た。 「水道みちスタディーツア」昨年引き続き開催した。 7回連続セミナーは会場が取れなく次年度に延期になった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.14 団体名 桜町会	事業名称 地域・異世代交流会
補助金使用額 123,672円	内 容 1. 整体ヨガ: 高齢者が健康でいられる様に整体を含めたヨガの紹介と講習会 2. トールペイント: 古くから伝えられているペイントの文化の紹介と実際に製作して戴く講習会を通しての交流会
補助事業に要した経費 141,692円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 トールペイント: 教材費がかかるにもかかわらず、町会会員以外の方も参加して頂き、他地区の方と交流が出来ました。以降も参加予定との事。 整体ヨガ: 会場が一杯になる位参加者が集まり、参加者より整体ヨガの良さを知る事が出来たとの事で、継続的な参加がしたいと要望がありました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・世田谷区の掲示板にチラシを掲載しました。

No.15 団体名 さくらっ子体験教室事務局	事業名称 さくらっ子体験教室
補助金使用額 121, 039円	内 容 地域の方に講師やスタッフをお願いし、桜小学校児童を対象にお手紙教室を実施。人と人との繋がりをテーマに子どもたちにSNSでは味わえない講座を開催し、子どもたちと地域の方々の交流のきっかけをつくり、地域を活性化させていきたい
補助事業に要した経費 121, 039円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 体験教室は、予定通り行ったが、4年ぶりの開催となり「さくらっ子体験教室」の認知度がかなり下がっていて、どういった団体かということを知りしきれなかったということもあり、参加者が伸びなかったためBを選択した。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.16 団体名 世田谷区立桜小学校おやじの会	事業名称 世田谷・桜 子どもたちと学校地域の連携事業
補助金使用額 177,196円	内 容 桜小学校在校生の保護者が中心となり、学校や地域と連携を深め、子どもと地域の安全なためになる活動やイベント開催を行う。 ・児童登校時の立哨、パトロール、交通安全活動 ・学校行事時の交通整理、周辺的安全確保 ・地域行事のサポート、児童の参加支援 ・災害時、地域の避難所となる学校での避難所設営や運営の訓練、支援 ・児童やその兄弟、地域住民を参加者に含めた交流イベントの開催
補助事業に要した経費 177,196円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 内容の変更や予定していた取り組みの一部中止はあったものの、年間を通じて活動し、予想以上の人出、反響、成果を得られた取り組みが多かった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.17 団体名 松丘町会	事業名称 地域コミュニティ活性化事業
補助金使用額 195,358円	内 容 ・昨年発行した地域の見所や店舗などを紹介するガイドマップを住民や店舗の希望を取り入れて大幅に改定し、広く配布する・ ・高齢者や子どもたちが楽しみながら地域になじむことのできるイベントを開催する ・地域住民が交流でき、健康維持していけるイベントを開催する。
補助事業に要した経費 300,582円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 地域住民はじめ事業所や団体と交流しながら活動できた。ガイドマップは街歩きに役立つと地域住民から高い評価を得ることができ、地域活性の気運を高めることができた。モルック大会は楽しくゲームしながら広い年齢層の交流の機会となった。ちびっ子サッカー講習会は松丘幼稚園との繋がりができた。子どもスタンプラリーでは多くの親子が地域を歩きながら交流することができ、また防災意識の向上にもなった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・桜小学校・松丘小学校の児童にチラシ配布してもらった。

No.18 団体名 経堂アトリエ	事業名称 ご近所大学経堂キャンパス
補助金使用額 203,700円	内 容 誰もが先生・生徒となり、ご近所のように気軽に参加できる場として「ご近所大学経堂キャンパス」を掲げ、セミナー、ワークショップ、交流会などを通して地域のヒト、モノ、コトの資源活用、魅力アップを図ります。「ご近所大学経堂キャンパス」ではウクレレ教室、ステンドグラスワークショップ、英会話教室、自主映画上映会、絵画展覧会などを行い 各回10名程度の参加を目指します。活動を記録した小冊子を作成します。
補助事業に要した経費 211,790円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍の影響もなくなり、計画した事業を計画通り行うことができ、成果を得ることができました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.19 団体名 経堂小学校おやじの会	事業名称 児童の豊かな精神教育と地域のコミュニティの構築
補助金使用額 168,053円	内 容 小学校、PTA、町会、商店街、まちあそびの会と連携し、目標1回/月のイベントを企画。生き物にふれ、育て、命をいただくどじょうつかみ取り、清掃前のプールからのヤゴの救出や季節感のある盆踊り、ハロウィン、クリスマス、豆まきの行事、また、ウォーターサバゲ、花火大会、夜市で非日常を体験できるような事業、また、学校教育の補完となるような事業を行う。
補助事業に要した経費 1,400,887円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・景品の提供を受けた。

No.20 団体名 桜丘小学校図書室開放運営委員会	事業名称 桜丘小学校図書室開放
補助金使用額 112,643円 補助事業に要した経費 123,003円	内 容 桜丘小学校が休みの土曜日に校内の図書室を開放。 在校生親子と普段は利用できない地域の親子（未就学児、他校の児童など）にも周知して利用できるようにする。 ・月2～3回の図書室開放。 ・年6回程度のイベント実施。 ・読書会、読み聞かせ、図書室の環境整備。 ・近隣町会の協力を依頼して地域へ活動をお知らせする。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は通常開放もイベントもほぼ計画通り行う事ができ、地域の親子が集う場を提供できたと思います。小学生だけでなく地域に住む幼児の保護者もイベント情報をチェックして申し込んでくれるので毎回到ぎわっています。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・PTA 主催のお祭りへの参加、チラシのすぐーる配信。

No.21 団体名 桜丘すこやか体操クラブ	事業名称 若手音楽家とプロの音楽家の連携による地域活性化
補助金使用額 108,029円	内 容 桜丘小学校の音楽室を利用し「安らぎの調べーチェロとピアノ」と称して、その年の話題性も考慮した曲目を相談して決めています。前半は地元出身の若手音楽家の演奏、後半はプロの演奏です。又演奏終了後には、出演者と聴衆とが気軽に談笑・交流する時間を設け、音楽に関心・魅力を感じてもらいながら、お互いの絆を深めています。
補助事業に要した経費 108,029円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 予想通りの参加者数ではあったが、若手音楽家の住まいが世田谷区外ではあったが、すばらしいソプラノで親しみやすい歌曲を披露してくれ、大変盛り上がった。 音楽会後の交流会では、音楽家との交流をきっかけに地域の方々相互に絆を深めることができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.22 団体名 じゅんかんチャレンジ桜丘推進協議会	事業名称 じゅんかんチャレンジ
補助金使用額 197,136円	内 容 ・生ごみ肥料で野菜を育てる生産者参加による「じゅんかん経堂日曜朝市」の開催。 ・桜丘小学校児童(6年生)を対象とした「環境・食育授業」の実施。 ・SDGsに取り組む関係機関に参加を呼び掛ける「じゅんかんフォーラム」の実施。 ・情報誌「じゅんかんニュース」の発行による活動の啓蒙
補助事業に要した経費 197,136円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 小学校における授業及び朝市の実施、機関誌の発行については予定通り実行することができたが、フォーラムに関しては準備不足もあって実施に至らなかったことによる評価。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.23 団体名 世田小地域ネット「いぶき」	事業名称 つなげよう地域と世田谷小
補助金使用額 242,500円	内 容 大型掲示板を利用した学校や地域の行事、町会活動、交通安全運動、防犯、防災、リサイクル活動の広報。夏に行う納涼屋外映画会は世田谷八幡宮土俵をお借りして、地域の住民が参加して顔見知りを増やし、防犯や防災に役立てていきたい。年始に行う世田谷小学校児童による年賀状展は、見学者に災害時の避難所としての世田谷小学校を認識してもらい地域の安全や、防災の向上に役立てたい。
補助事業に要した経費 381,920円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナがようやく落ち着き、本格的に活動が再開できるものと思っていたが、3年間のブランクは大きく、行事を軌道に乗せるのに苦労した。以前の活動に戻すには更に時間が必要と思われる。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.24 団体名 タウンスエイト	事業名称 経堂・宮坂・桜丘スタンプラリー
補助金使用額 113,350円	内 容 町会ごとの集合地点からスタートし、8町会内に設けられたスタンプポイントを巡り、馬事公苑前のけやき広場をゴールとする「スタンプラリー」を実施する。スタート地点及び各スタンプポイントでは各町会の役員が対応する。また、当イベントを開催するにあたって経堂地区における事業所等などに協力を仰ぎ、物品などの参加費をゴール地点で配布する。今年度は雨天による中止を回避するために予備日を設け、確実に実施できる体制を目指す。
補助事業に要した経費 117,670円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は好天に恵まれコロナ禍を挟んで4年ぶりに実施できたことが何よりの成果であった。久しぶりの実施にもかかわらず、150名を超える参加者があったことも評価できる。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。”

No.25 団体名 特定非営利活動法人せたがや防災士会	事業名称 地域防災及び被災住民支援・避難所運営支援者に必要な知識・スキル向上のための事業
補助金使用額 105,247円	内 容 防災士と地域で防災に関わっている方々向けに、必要な知識・スキル向上のために学習会を開催する。また、大災害に備え減災及び災害対応能力の向上を目指し、イベント・講演会等を開催する。講演は、より広く地域に参加を呼び掛けるために、Web形式を併用する。その準備のため及び防災対策のために、定期的(月1回)会議を行う。 防災講習会、研修会(5月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月)の開催を予定する。学習会、イベント、講演会は広く区民が参加できます。
補助事業に要した経費 131,247円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今年度は例年以上に地域との連携を意識して実施した。その結果町会等との関係も強くなり、また、潜在している地域の防災士の発掘にもつながった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.26 団体名 宮坂楽々倶楽部	事業名称 健康と安全安心講座
補助金使用額 181,681円	内 容 参加者の外出を促し脳を活性化させるような、健康とお笑いの講座を開催して、健康な心をつくれます。 また、地域のコミュニケーションの向上を図り、この地域で最近多発している特殊詐欺被害を防止し、安全安心な町づくりを目指します。
補助事業に要した経費 239,545円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 6回開催して参加者合計305名の方に参加して頂き、そのうち宮坂三丁目町会の方が54.4%、他町会の方が45.6%と他町会の方の参加が多くなりました。 経堂駅を中心とした掲示板にチラシを貼り付けて頂くことができた。(3町会) チラシの配架に駅前の「経堂図書館」におかせて頂くことができたこと。(ここにはチラシを、100枚配架していますが、配架後1週間で無くなりますが、はっきりと経堂図書館のチラシを見ての参加という方がまだすくない。)
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.27 団体名 世田谷ゴミ拾い研究所	事業名称 地域の清掃事業
補助金使用額 131,423円	内 容 ・学区内、公園の清掃活動を月に2回程度をおこなう ・町内の歩道全般の清掃活動を月に2～3回おこなう。 ・アルミ缶、スチール缶の回収とリサイクルを月に2～3回行う。 ・清掃活動やゴミ問題の有識者を講師として招き、講演会とゴミ拾いをセットにしたイベントを地域の公立小学校で行う。
補助事業に要した経費 131,423円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 本来の時期とはずれたものの、主旨に沿った活動は行うことができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。

No.28 団体名 繋組	事業名称 地域と子供たちの未来を繋ぐプロジェクト2023
補助金使用額 230,564円	内 容 駒繋小学校の在校生・卒業生の父親が中心となり、地域の方・学校教職員もメンバーとして活動している駒繋小学校おやじの会「繋組（つなぐみ）」による、子どもの健やかな成長と地域の健全な発展をめざす年間事業です。 ・地域行事、避難訓練への運営・参加協力を通じた地域との交流（せたがや環境フェスタ等） ・地域と学校の子ども・保護者を繋ぐワークショップ等の開催 ・町会内の協力をうけながら子どもたちとイベント、学校へのお泊り体験、やきいも提供など ・スポーツ活動を主催し、会員に留まらず地域の方の参加を広く募り活動（昨年実績：会員以外の参加者20名）、またオール世田谷おやじの会、世田谷区小学校PTAや他校団体との交流 ・活動計画検討にかかる会館使用、活動案内・報告にかかる広報誌作成・報告会の開催など
補助事業に要した経費 345,564円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
	その理由 駒繋小学校・PTA・他小学校・オール世田谷おやじの会・下馬一丁目町会・駒繋神社・地域の方々などと連携し年間113回の活動を行い延べ2,072名の方にご参加頂くことで下馬地区において地域の大人・子どもたちの体験機会創出・地域交流の活性化・生活環境の向上・防犯防災活動に貢献することができた。 主な活動 ・駒繋小学校との連携 入学式・運動会・駒繋フェスタなど学校行事の運営支援を実施した。また定期的にあいさつ見守り運動を行い特に通学路上で危険の高いエリアの防犯・安全強化に貢献した。 ・子供たちとの連携 子供たちが健やかに好奇心旺盛に育つための糧となる体験イベントを数多く主催し、子供たちと地域の皆さんとの交流の機会を創出した。 ・こまつなぎオリンピック：駒繋小学校校庭で複数のスポーツイベントを体験。 ・ドッジボール練習会：駒繋小学校校庭での地域ドッジボール大会に向けての練習会。 ・おやじハロウィン：下馬地域を拠点に駒繋小学校の子供たち、近隣の皆さんと連携。 ・食育体験 おさかな先生：講師を招いて、魚をさばき命の大切さを実感。

	・おやし花火大会：駒繫小学校で花火大会を開催、約280名が参加。 ・地域との連携 年間を通じて駒繫神社でのパトロール・ゴミ拾いやあいさつ見守り運動などで地域の方と連携し、関係者間での交流を図る事が出来た。また各種イベント・行事に積極的に参加し地域活動の活性化に尽力した。 ・せたがや環境フェスタ(世田谷区後援)：やきとり店を出店し子供達と運営、他団体との交流も実施。 ・アドベンチャーin多摩川いかだ下り大会：区教育委員会主催のいかだ下りイベントに2艇が参加。 ・三茶夏祭り：地域の方々とチームを組み、地域のお祭りの綱引き大会への参加。 ・野沢稻荷神社：御神輿担ぎに参加。 ・野沢児童館 えんにち：運営支援を実施。 ・夜間避難所訓練：町会による駒繫小学校での夜間避難所設営訓練に参加。 ・駒繫神社 防犯パトロール：お祭り当日に見守りパトロールとゴミ拾いを実施。 ・フットサル/ソフトボール部：校庭での練習・オール世田谷おやじの会主催大会への参加・世田谷区内他小学校との練習試合の主催を通じて、地域間の絆強化を行った。両部は駒繫小保護者に留まらず地域一般の方を含め参加を募り、実際に新規参加者10名を含め一般参加者も活動に加わって頂いている。募集については町会や近隣店舗へチラシを掲示・配布頂くことにより活動周知を頂いている。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.29 団体名 上馬東町会	事業名称 第9回上馬公園自然と楽しむ体験フェスタ
補助金使用額 237,040円	内 容 2014(平成26)年度、町会主催の子ども対象新規事業として実施し、好評だった。 上馬公園の柿の木を使った柿もぎ体験、皮むき競争、渋柿甘柿の違い体験、渋抜き柿参加記念プレゼント、在宅栄養士会による柿レシピは毎回発行しており毎号保管し料理をしているとの声も寄せられている。 さらに、昔遊びなど、今の大人たちが子どもの頃体験したことを地域の子どもたちに体験する場をつくり、伝えたい。併せて、災害時に助け合える関係作りをすべく、行政(世田谷警察署、世田谷消防署、上馬まちづくりセンター)や電力、ガスのインフラ事業会社に参加して頂き災害時における展示説明をしてもらう。世田谷警察署は身近な防犯活動や広報。消防署・消防団と連携した町会防災コーナー、初期消火訓練には毎回体験参加人数130名余が参加、今年も実施する予定。また、近隣小中学校PTA、中里商店街の協力を得て模擬店を出店し楽しい場づくりをする。防災関連事業会社との災害時におけるWC対策コーナーも設ける。「駒沢ドッグストリートプロジェクト」「野良猫対策委員会」(それぞれ絆事業団体)の協力を得ると共に連携する。ハロウィンの時期に重なるので役員が仮装し、来場者に楽しんでもらう。今年は更に充実させる予定。第一回開催から好評だった川場村産直販売コーナー、回収業者と連携した古着等の回収(上馬東町会中里会館では通年で受け付け)も定着しており、今回も実施する。2018(平成30)年から女性部によるバザーも行った。開催時間10:00~15:00の短い時間であるが参加者も年々増え前回は1200名を超えた。2020~2021年は準備しましたが、コロナウイルス感染状況を鑑み慚愧の思いで中止にいたしました。2022(令和4)年に再開、今年度も申請時にコロナウイルスも五類に移行したので実施したい。
補助事業に要した経費 237,040円	

事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 「コロナ禍」終息後、2回目となる今回は前年の「お久しぶり開催」と違い本来の目的である「地域の絆」強化に主眼を置き役員一同の真剣さ並びに協力団体との良好な関係が成果としてあらわれた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・旭小、中里小経由で児童にチラシを家庭に持ち帰ってもらった。

No.30 団体名 グループippo	事業名称 地域みんなで考える「飼い主のいない猫のコト、デキルコト」
補助金使用額 242,500円	内 容 ①地域住民と連携した地域猫活動の推進 ②飼い主のいない猫に関する「分かりやすく正しい知識」の普及啓発活動 ③関心の輪を広げるためのPR活動(イベントや交流会)を開催し、相談しやすい環境を作る
補助事業に要した経費 565,337円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 関係各町会の協力のもと、1年を通じてチラシの回覧や掲示を行うことができた。結果、イベントへの参加者が増加するなど関心の輪の広がりを実感した。学習会・相談会を気軽に参加できるよう親しみやすいネーミングにすべく「ねこ会議」に名称変更し、学び・相談・交流などを含む内容で充実を図り好評を得た。3月の交流会では、参加者同士による「飼い主のいない猫」に関する問題改善への議論を行った。多様な立場の人の考えを尊重しながら「デキルコト」について意見交換をする場を各種提供することで、新たなつながりが生まれた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.31 団体名 小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会	事業名称 小泉公園ふれあいフェスタ 2023
補助金使用額 176,851円 補助事業に要した経費 224,600円	内 容 10月7日(土)の午前10時～午後3時に、区立小泉公園で町会と公益団体が主体となって”防災・防犯・環境”をメインテーマに子どもも大人も楽しめる”お祭り”を4年ぶりに再開します。AEDや消火器の使用、煙中行動に起震車などの防災体験ができ、バザーや模擬店などの出店にゲームや演奏会などの催し、更に消防署・警察署・清掃事務所の協力を得て消防車両・パトカー・白バイ・ごみ収集車などの展示と撮影会、またスタンプラリーも行う予定です。 万一、当日が雨天の場合には区立駒沢中学校に場所を変えて行います。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍による中断後4年ぶりの実施であったこと、事務局交代後初めての実施であったことから経験の継続が不足し数度にわたる計画変更を余儀なくされた。当日の実施内容は計画通りで協力団体による展示・訓練、会員団体による出展により、防災、安全、環境の啓発やいろいろな交流の面で成果を発揮した。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。”

No.32 団体名 梅丘1丁目町会	事業名称 梅丘花の会
補助金使用額 200,267円	内 容 梅丘地区には障害をお持ちの方が多く、災害発生時の障害者の方々への対応の難しさに困難を憶えており、日常の交流を深めることを第一歩と考え、すまいる梅丘、ノテ梅丘との絆を強める中で、避難所運営等の示唆を得る。又梅丘まちづくりセンター・社協・あんしんすこやかセンターが同一施設に入り、福祉の体制が充実しているため、活動フロアーを利用される方々とも花壇を話題に交流を深める中で、防災意識の向上や街をきれいになどの啓蒙活動を進める。
補助事業に要した経費 200,267円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 福祉品難所に指定されている「すまいる梅丘」に加え、小規模多機能型居宅介護施設の「ノテ梅丘」も今年度より参加し入所者を含め喜ばれ評価をいただいている。梅丘まちづくりセンター設置のプランターは来所者に評価をいただいている。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.33 団体名 城山小学校オヤジの会	事業名称 城山小学校を拠点とした、親子と地域活動を連携・促進する事業
補助金使用額 222, 094円	内 容 城山小学校在校生の父親が中心となり、子供達の健やかな成長と地域活動への連携促進を目指した事業を展開する。 ・イベントやパトロール等で使用するユニフォームなどの作成 ・地域行事の手伝い、防災体験、炊き出し訓練等の運営を通じた地域との交流 ・地域住民や保護者と子どもをつなぐ、子供祭りの支援やワークショップの開催 ・地域団体やオール世田谷おやじの会等の他団体との交流など、活動計画検討にかかる会場使用、活動報告や懇親会の開催など
補助事業に要した経費 222, 094円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.34 団体名 池ノ上イメージアップ推進協議会	事業名称 池ノ上のイメージアップ推進
補助金使用額 218,553円 補助事業に要した経費 221,553円	内 容 ・毎年10月末に行っていた「ハロウィンの夜を楽しもう」を催行。商店街と町会が協力して道路を4時間通行止めにし、子供向けに提灯や手作りの装飾品、子供の塗り絵で街を彩る。その中をボランティアが揃いのコスチュームで見守り歩き回る。無料のゲームコーナーやワークショップを数カ所で開いたり、商店街のお店が提供する無料のスープを開いて参加者に楽しんでもらっている。去年は新企画で、池ノ上音頭を踊りながら商店街を練り歩いたら、沢山の子供達がついて踊る楽しい行進となった。 ・毎月1回の定例会でイベントの企画・検討を行い資料の作成や会議の運営を行う。 ・団体のホームページでイベント情報の発信、関係団体の活動紹介等をする。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ボランティアを申し出てくださる方々が増えたため事前準備がスムーズにできた。商店街を飾る制作物の設置に多くの商店が協力を申し出てくれたのでにぎやかな会場作りができた。コロナ明けだからか大勢の参加者で商店街が活気づいた。ゲームを提供する側も大いに楽しんだと全スタッフから報告があった。特にトラブルはなかった。以上により評価をAとしました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.35 団体名 震災時における地域社会の役割を考える会 補助金使用額 94,613円	事業名称 震災に強いまちづくりを目指して繋がりよう！ 内 容 ・多くの住民に防災意識を高めてもらえるような働きかけについて協議する。 ・代沢中町会主催の「鎮守の森防災フェス」に参画し、防災部分を担当する。近隣の親子を対象に、起震車や通報訓練、救命救急訓練、初期消火訓練など、楽しい防災フェスを開催する。 ・前年度は机上でHUGゲームを行ったが、今回は前年度の避難訓練の課題解決を図り、実践版HUGを実施する。 ・災害時に救助を必要としない場合は玄関先に三角巾を掲げる、。それにより要救助者をより早く把握することができる体制づくりの訓練を高齢者を対象に行う。 ・幟旗を掲げ、町会のパトロール隊と協力し防災・防犯パトロールを行う。 ・夜間の災害に備え、夜間避難訓練を行う。
補助事業に要した経費 94,613円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 今年度の鎮守の森の防災フェスでは、事前予約はせずに現地の来場者に参加してもらうという形式で開催した。そのため中町会以外の参加者も多く、主催である中町会には大変なご負担を頂いた。しかしながらそのことによって近隣の居住者も多く参加することができた。地域の絆連携活性化事業としてはこの事業の趣旨に当てはまった事業開催となった。 また、震災時における地域社会の役割を考える会としての目的は一般住民への防災意識の向上を目指している。しかし消防団の方から「消防署、消防団は発災時には来られない。だから自分たちで町を守って欲しい。その心積もりをお願いしたい。そのためにはスタンドパイプの操作を習得し、住民を火災から守ってもらいたい。」とのご助言を頂戴した。今後、意識向上は勿論のこと、実際の消防訓練も強化できたらと考えている。 HUGについては、昨年のHUG開催で、初めての体験ということで再度の訓練を実施した。絆事業活動を継続していることから、他町会へも浸透してきたようで、中町会以外で3町会の参加があった。発災時にはリーダーとしての役割を果たせるように訓練を重ねることにより、避難所での運営がスムーズになると考えられる。 この事業は防災意識を高めるための契機づくりであるが、より多くの代沢在住の人々が声を掛け合い互いに助け合える環境を整えていきたい。また、避難所運営が上手いくことは非常に難しい。それを疑似体験し積み重ねていくことが重要であると考えている。 年間を通じて防災意識の向上、避難所運営訓練、防災訓練と活動

を継続することが一番の力の蓄積になる。これからも代沢7町会全体に広がっていくことを目標とする。

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
B 目標としていた程度に連携・協力できた
C 目標としていた程、連携・協力できなかった

A

その理由

- ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。
- ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。
- ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。
- ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。
- ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.36 団体名 世田谷伝統芸能に親しむ会	事業名称 日本舞踏を通して、伝統芸能を身近に感じてもらい地域を元気にしよう
補助金使用額 211,460円	内 容 核家族化が進み、身近に祖父母がいない子ども達が増える中、子ども達に日本舞踏や歌舞伎体験の参加を促し、高齢者の方々をはじめ、多世代での交流を目的としてふれあい体験を行います。 この活動を通じて子どもたちにも年齢の離れた方々との関わり方などを自然と学ばせ、社会貢献を担う人材を育成することがねらいです。お稽古には地域の方々にも参加して頂いたり、町会や高齢者クラブでの披露やワークショップなどを通して、みんなを笑顔にしたいです。
補助事業に要した経費 233,721円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 地域の高齢者の方々、幼児、小中学生との多世代交流ができ、イベントや発表会などの事業も計画通り行うことができました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.37 団体名 代沢子育ておうえんだん	事業名称 代沢こどもフェス in 東地区会館
補助金使用額 181,579円 補助事業に要した経費 188,213円	内 容 代沢地域には児童館がありません。そのため私達は地域の子育て支援団体が集まり、“代沢子育ておうえんだん”を作り、地域の人たちと一緒に、子育て中の親子と乳幼児と小学校低学年のこどもたちとその保護者達が、一時楽しく過ごせる機会を作るため“代沢こどもフェスin東地区会館”を高齢者クラブや町会の協力を得て開催しています。歌唱指導をしていただき一緒に歌を歌ったり、人形と触れ合ったりするワークショップも行います。手づくりおもちゃ、手がた足がたアートを作ったり、お作法でお辞儀の仕方を練習したり、日本舞踊で扇子の使い方を学んだりします。乳幼児にはわらべうたを通して親子で触れ合いながらできる遊びをします。同じ場所に集うことは、人と人を繋げ絆を深めるきっかけになると思います。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 今までのイベントに加えて、新しいイベント(ボッチャ、ドライブシミュレーションゲーム、古着交換会)に取り組みましたが、お知らせしていくことが充分でなかったイベントがあったように感じます。事前のお知らせを工夫していきたいと思います。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・その他(町会役員会で、共催することを認めていただくことができました。)

No.38 団体名 代沢こども広場	事業名称 赤ちゃんの感性を育てる事業を通じて地域の交流を深めよう！
補助金使用額 136,758円	内 容 代沢地域には児童館がありません。そのために主な活動を代沢東地区会館でおこなっています。私たちは町会や子育て支援団体と交流しながら、子育て中の親子のために情報交換の場や生の舞台を観る体験など、より良い環境を提供したいと思います。そのための具体的な事業として①みんなのバイオリンコンサート：社会福祉協議会のボランティア（代沢中町町会在住）②ベイベーミニシアター③ハンドベルクリスマスミニライブ：高齢者クラブ（南山会）を企画します。
補助事業に要した経費 136,758円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 子育て中の親子に無料で生の舞台を観る体験をしてもらうことによって、赤ちゃんの感性を育てるとともに文化体験の格差をなくすことに寄与できました。今回で8回目の絆事業ですが継続して良質の作品を提供することで参加者も楽しんでくれて、また地域の各団体の信頼も得られたと思います。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.39 団体名 おはなしカラフル	事業名称 絵本や紙芝居で地域の仲間とつながろう！
補助金使用額 198,607円	内 容 小学校の保護者向けには、毎月の学校での絵本の読み聞かせに役立つ講習会を開催します。また、紙芝居の大手出版社の講習会を呼び、より深い知識を学校読み聞かせに還元できるお手伝いをします。その他、乳幼児以上のすべての親子対象に絵本作家による読み聞かせ会や、工作教室を企画し、読書活動を通して地域の親子で楽しむ時間を共有してもらいます。
補助事業に要した経費 224,507円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 6月の紙芝居講習会の講師とのご縁で絵本や紙芝居を出版している童心社との関わりができた。それにより、3月のこども劇場せたがや主催の人形劇関連でもある講演会をスムーズに準備することができた。結果として友達が友達を誘うという嬉しい広がりを作ってくれた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.40 団体名 世田谷代田SAP	事業名称 世田谷代田を住みよく安心なまちにしようプロジェクト
補助金使用額 210, 205円	内 容 世田谷代田駅周辺のまちづくり活動を、代田小PTA活動から始めて現在まで継続し今年で19年目になる。昨年度まではコロナ禍での活動制限もあったが、壁画メンテナンス、ワークショップ、だいたフェスタ、だいた田んぼづくりなどを通して、今年度は、少しずつコロナ禍前の活動にも戻していきたい。私たちSAPIは実際に対面して一緒に活動することで地域に根ざし、地域の絆を広げることができるようになってきた。今年度は、無理のない範囲から活動の輪を広げ、地域との連携・絆をさらに深めていきたい。継続して新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、以前の絆を取り戻し、さらに深めていけるよう、計画したい。長年にわたるネットワークの構築を大切にしながら、今後もさらに新たな試みにも挑戦していく。「356花植え隊」や「ミライ壁画プロジェクト」など他団体とも協働し、世田谷代田駅の駅前広場やみごろ広場の美化や防犯、まちづくりに活性化にもさらに積極的に参画していく。
補助事業に要した経費 210, 205円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 コロナ禍以前と同等に、壁画メンテナンス、だいた田んぼ。だいたフェスタ、ワークショップ(計2回)を実施することができた。また、みごろ花植え隊との協働活動として、代田富士みごろ広場の雨庭造り計画による花壇や植栽の管理や、専門家を招いての研修なども行うことができた。特に、4年ぶりに代田小学校を会場にして開催した「第17回だいたフェスタ」は、代田小学校、代田小PTA、代田小おやじの会、他地域の活動団体の多大なる協力により、総勢約200名の参加者で大盛況となった。4年ぶりではあったが、以前の協力団体プラス新規の参加団体も増え、多くの子供たちや地域の皆さんと交流することができ、大きな成果を得られた。 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・その他(トラマチづくりと連携して雨庭造りの活動に協力した。)

No.41 団体名 代田睦会	事業名称 代田の魅力を知ってもらおう
補助金使用額 235,482円	内 容 代田地区の皆さんにイベント情報を提供して参加して頂く。また運営にも積極的にかかわって頂く為に広報誌やポスター・チラシを作成して地域内の店舗や掲示板に配布します。皆様にイベント・行事に参加していただき、代田地区の魅力をアピールします。
補助事業に要した経費 242,653円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍で中止となっていた代田地区の一大イベントである代田八幡神社祭礼が4年ぶりに催行できた。 4年ぶりに制限のない祭りを開催できたことで代田地区の住民の皆様に変感謝して頂き、地域の絆を深めることに貢献できた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.42 団体名 小径のノエル実行委員会	事業名称 下北沢の街にキャンドルを灯し、街の魅力の共有と活性化、街と人、人と人のつながり作り
補助金使用額	内 容 下北沢の街をキャンドルで彩るキャンドルイベント ・12月22日(金)&23日(土)&24日(日)「小径のノエルvol.14」開催。
補助事業に要した経費	241, 067円 743, 112円 下北沢駅周辺のキャンドルスポット約20箇所×キャンドルアーティスト約10組のキャンドルデコレーション。街歩きマップ配布、キャンドル・ヒューマンチェーン、キャンドル作りWS、キャンドル投票など。 ・6月17日(土)「下北沢の夏至のキャンドルナイト」開催。 キャンドルデコレーション、キャンドル作りWS、キャンドル掬い、下北沢駅の電気の消灯など。キャンドルの暖かい灯により下北沢の町の魅力を共有し、また祝祭の時をともにし、街と人、人と人とのつながりをつくり、深め、広げていきます。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 6月17日に下北線路街空き地で開催した「下北沢の夏至のキャンドルナイト」では、街から集めた不用品のキャンドルで、リサイクルキャンドルづくりワークショップを開催、子どもから大人までたくさんの方に参加いただいた。作ったキャンドルをウィッシュキャンドルステーションに参加の人たちで飾り点灯式を行い、その後ステージキャンドルデコレーションやミニライブなど予定通りに開催でき、人手も多くにぎやかに開催できた。 12月23日&24日(前夜祭22日)の「小径のノエル」では、テーマを「火を灯そう」とし、下北沢南西口のNANSEI PLUSやBONUS TRACKなどを含め、23箇所にキャンドルを点灯できた。キャンドルアーティストは13組に参加いただいた。昨年に引き続き、南西口からの新しい道にキャンドルを手に並ぶキャンドルヒューマンチェーンも開催、オープニングギャザリングをシモキタ園藝部に協力もいただき、多くの街の人たちとともに祝祭の時を持てた。コロナ禍が落ち着き街に賑わいが戻る中、マップを手に回る人たち、キャンドルに足を止める人たちも多く、小径のノエル賞の投票はこれまで最大数の投票数をいただき、ドネーションも多く集まり、新しく生まれた空間も馴染み賑わう下北沢の街にキャンドルで祝祭の時を持て、計画通りに、また成果も多く得られた開催をできた。

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.43 団体名 東北沢睦会	事業名称 東北沢を再発見
補助金使用額 169,745円	内 容 メンバーは・東北沢自治会・東北沢商店街などの運営に参加しているため、多くの東北沢のイベント・行事に参加するきっかけになるように東北沢の魅力をアピールしていきます。地域の方々に東北沢地区で行われるイベントを知って貰い参加してさらに一緒に運営にも参加してもらうきっかけをつくるために広報誌(ポスター・チラシ等)などを作成して北沢1丁目・3丁目の住民・店舗に配布します。
補助事業に要した経費 194,745円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 北沢八幡例大祭・ふるさと祭り・ありがとう祭り・公園清掃・ラジオ体操等、おおむね計画通り、参加・お手伝い・交流ができた。コロナ明けで、参加者の減少も心配されたが、概ねコロナ前と同じ規模であった。コロナ中は、地域の行事が全く無かったので、団体の会員の減少も心配されたが、現状維持で多くの会員が参加してくれました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.44 団体名 健康ウェンズディ運営委員会	事業名称 健康ウェンズディ
補助金使用額 31,004円	内 容 ・世田谷区梅丘中学校体育館にて、ショートテニス・キンボール等 子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ体験の場の創出・提供 ・キンボール体験会を行い、それがキンボールの普及と共に活動仲間が増えることを期待する。
補助事業に要した経費 37,143円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ボッチャの体験会を行うことができ、参加者に好評であったのはよかった。キンボールの講習会は予定していた講師の都合がつかないということで、今年は開催できず、残念である。次年度には行いたい。ショートテニスも参加者が増えてきた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.45 団体名 松原5・6丁目自治会	事業名称 第8回松原の文化祭「ふれあい絆フェスタ」
補助金使用額 242,500円	内 容 地域の子どもから高齢者までが一同に集うイベントを開催し、地域住民同士のふれあいの場として活用することで、多世代の交流を図る。楽器の演奏、ダンス、声楽(以上ステージ使用)、書画、写真、手工芸品、陶芸など作品の発表、フリーマーケットなどの開催を行う。
補助事業に要した経費 428,940円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 出演出展共に当初予定していた以上の応募があり、又当日の来場者数も予定以上で盛会であった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.46 団体名 松原三・四丁目自治会	事業名称 地域の子どもは地域で見守る「すくすく育て “松原っこ” 」
補助金使用額 215,610円	内 容 通学時の見守り・防犯パトロールを定期的 to 実施し、子どもたちの安全を確保する。また、地域住民と子どもたちのふれあいの場として「わくわくキッズフェスタ」を開催し、世代を超えた交流を図るとともに地域の絆を深めていく。
補助事業に要した経費 332,476円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 11月3日に開催した「松原三・四丁目わくわくキッズフェスタ」(以下「キッズフェスタ」)では400名以上の来場者を迎え、これまで自治会活動にあまり参加したことがない子育て世代と交流することができた。キッズフェスタの開催により多くの住民を呼び込むことで、自治会活動への理解・協力、PR活動を効果的に行うことができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・その他(各連携団体にチラシを配布し周知をしてもらった)

No.47 団体名 松原二丁目町会	事業名称 落書き消し
補助金使用額 9,455円	内 容 町会や商店街、高校、企業等の様々な団体、住民が参加し、地域の清掃活動、落書き消し、シールはがしや防犯パトロールを行うことで環境美化や防犯に対する意識を向上する。また、普段あまり交流のない高校生や大学生に参加してもらい、町会等地域活動団体の取り組みについて理解を深めてもらう。
補助事業に要した経費 9,455円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 京王電鉄の職員、当日参加できなかった団体や学校に地域の環境美化・防犯に対する意識向上を図ることができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.48 団体名 赤堤1丁目町会	事業名称 サウンドスケープ IN 赤堤
補助金使用額 129,980円	内 容 サウンドスケープIN赤堤コンサートは今年度初回で50回目を迎えます。コロナ禍を経て、3年ぶりに開催した昨年のゴスペルとJazzは多くの皆さんに参加いただき、久しぶりに明るい気持ちに湧きました。本年度も身近な場所で音楽、文化に触れていただくべく、3回目のコンサート開催を目指します。昨年できなかった邦楽演奏とクリスマスコンサート、そして、マリンバ演奏会を開催予定です。楽器の特徴、演奏音楽の歴史、背景なども交えてのコンサートで多くの地域の皆さんをお招きしたいと企画中です。
補助事業に要した経費 174,345円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 今年度は12月のクリスマスコンサート以外は地域の方からの希望で開催が決定したので早い時期からスムーズに事業を取り組めた。町会会員からも今年度の3回はみな良かったとの感想。それぞれ趣の違った音楽を皆さんにお届けすることができて好評を得た。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.49 団体名 赤堤に文化を！六所の森の会	事業名称 第 37 回六所の森クラシックコンサート
補助金使用額 242, 500円	内 容 赤堤2丁目にある六所神社境内の神楽殿を舞台にプロのアーティストによるクラシック曲を中心とした演奏会を開催します。秋の夕暮れ時、かがり火の中、聴く幻想的なコンサートは忘れられない思い出となります。入場無料で日没開演。今回は、楽器バンドネオンによるアルゼンチンタンゴをお届けします。第30回にはオペラ「カルメン」第31回、ミュージカル「サウンドオブミュージック」に挑戦し、約1000名の皆さんが来場されました。また、八丈町との長年の連携も深まっており、八丈太鼓の演奏で来場者を迎えます。各町会・自治会や地域の方々と事前準備や広報活動など様々な面でご協力いただき、地域で盛り上げていきます。
補助事業に要した経費 678, 759円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.50 団体名 特定非営利活動法人せたがやオルタナティブハウジングサポート	事業名称 町会と連携して進める地域の防災活動 PARTIX
補助金使用額 242,500円	内 容 ①防災訓練の参加人数を増やすために魅力的な訓練の充実を図る。(安否確認訓練/初期消火訓練/救助訓練)訓練実施のため、計画、準備、周知及び実施後の振り返りを行う ②発災時に必ず不足する人員を確保するため、防災パートナーの増員(現在20名から25名程度に)を図る。このための資料づくり、説明会の開催を実施する ③町会独自の地区防災計画策定に取り組む。テーマは①発災時の適切な情報伝達②避難行動要支援者の対応とする
補助事業に要した経費 375,011円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A その理由 ①防災訓練は予定通り3回実施したが、すべてこれまで以上にバージョンアップし大きな成果が得られた。 特に安否確認訓練では丁寧な周知活動の結果、町会会員の4割の世帯の参加が得られた。 また消防署から「街かど防災訓練」のお誘いをいただき、よりリアルな消火訓練が実現した。 ②発災時に必要な協力員/防災パートナーの増員は当初の計画を超える30名以上となった。 ③地区防災計画策定事業は年間の予定以上に具体的に取り組めた。2回のワークショップを実施、策定作業は4名のコアメンバーによって進めることとし、その案を防災・防火部会に諮り決定していくという形で、計画の骨子がまとまった。 このほか、避難所運営訓練、北沢地域区民防災会議、松沢地区防災塾に参加し、部会全員に周知を図った。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で開催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・その他(ZOOM 認定、会議振興、アジェンダ、議事録の作成、会議会場の予約、防災用品・備品保管)

No.51 団体名 奥沢地誌保存会	事業名称 郷土奥沢の歴史関連資料の収集及び利活用・普及活動
補助金使用額 112,658円	内 容 1. 本会主催又は共催の歴史展や歴史講座などの開催 本会活動で収集した資料を基にして「奥沢の歴史展(資料展)」や「歴史講座」などを開催して、郷土の歴史等への理解と愛着を深めてもらう活動としたい。 2. 地域内学校への郷土の歴史を知る講座・授業の支援などの活動 本会で収集した資料等を分類整理し、学校の講座・授業で利活用が出来るようにしたい。 3. ホームページの立ち上げとリーフレットの作成 本会活動の周知・広報と、行事等への参加・協力の呼びかけに活用したい。
補助事業に要した経費 144,758円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ・歴史展示は、奥沢文化祭と風景祭で各1回、奥沢区民センターで1回、計3回開催。 ・本会主催の歴史講演会を2回開催しました。 ・歴史講座を7つの団体と共催で計13回、地域の歴史授業を3校で実施しました。 ・史跡巡りを、共催・協力として4つの団体と計6回支援しました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.52 団体名 子ども会少年団を育てる世田谷センタ ー	事業名称 地域に子どもの異年齢集団を育てよう
補助金使用額 225, 891円	内 容 異年齢の子ども達による集団活動を地域の青年達が共にあそびながら見守り、サポートをし、子ども達の居場所を作る活動。具体的には月2回の近隣の公園での外あそびや、地区会館や活動フロアを利用しての中学生会。、ギターを習ったり、ボードゲームをしたり、たまには勉強をしたり、思春期の中学生とお兄さんお姉さんが語り合います。3泊4日の夏のキャンプは本番まで何度も会議や訓練を重ね仲間意識を育みます。ハロウィンパーティーやクリスマス会などの季節イベントの他、青年達が何をテーマにするかから話し合い、学び、それを子ども達に教える青空学校も大きなイベントです。その他地域の行事にもお手伝いとして参加します。
補助事業に要した経費 268, 363円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 昨年度に引続きキャンプに参加できた。中学生達が地域の行事に中心的な役割を担ってくれた。青空学校では世田谷区民家園ボランティアの草木加工研究会の方々が協力してくださり子ども達に素晴らしい体験をさせられた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.53 団体名 玉川田園調布防犯パトロール隊	事業名称 「安心して暮らし続けられるまち」をテーマに＜絆＞を多世代に広げるまち守り活動
補助金使用額 194,000円	内 容 防犯パトロール隊の今年度の活動概要は、以下の4点です。 ①防犯パトロール活動の継続と犯罪発生データの蓄積による予知防犯を目的とした広域データの分析
補助事業に要した経費 227,000円	②「安心・安全まちづくりニュース」の発行と事務局会議によって地域の安全に関する情報共有を進め、防犯パトロール隊員の拡大を図る。 ③安心・安全まちづくりに対する関心を高めるために交通安全、高齢者・子どもの見守りをテーマとしたシンポジウムをzoomを活用して開催し、参加者の年代層を広げ地域の絆づくりを進める。 ④周辺町会及びPTA、玉田シニアサロンと連携し、防犯パトロール活動のサインである首下げ防犯カードの周辺地区への普及を図る。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ・事務局会議は対面で予定通り開催することができた。 ・安全安心まちづくりニュースは予定通り12回発行することができた。 ・シンポジウムは第1回目として玉川田園調布防災本部との共催で「玉川田園調布会が備えている防災備品を点検する」を開催した。第2回目は玉川田園調布防災本部と玉田シニアサロンとの共催で「赤堤町会の防災活動に学ぶ」を開催した。 ・年末には玉川田園調布会と協力し火の用心パトロールを実施した。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.54 団体名 尾山台小学校おやじの会	事業名称 地域の方々と共に子供達に様々な体験の場を提供
補助金使用額 7,660円	内 容 尾山台小学校及び地域で開催される行事やイベントに縁の下の力持ち、時には主催者として参加し、子供達や地域の方々に文化、スポーツを体験できる場を提供していきます。「サバイバルキャンプ」では災害時の対応を経験してもらったり防災意識の向上を図ってもらい「E-Oyaji」ではお父さんたちの職場体験(裁判疑似体験、建設現場見学等)を行ってもらい様々な経験を積んで自身の将来の参考にしてもらいます。
補助事業に要した経費 8,708円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 予定していたイベントに関してはほぼ開催することができた1年だった。町会、PTAとも連携し、各種イベントを無事成功することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.55 団体名 玉堤小コミュニティー	事業名称 玉堤小学校と地域をつなぐ活動
補助金使用額 187,760円	内 容 玉堤小学校の通学区域を主な活動範囲として、町会や玉堤小学校、同PTA、同おやじの会、同スポーツクラブ、玉堤みどり会などと協力して、広報誌「玉堤小通信」の年6回発行、ラジオ体操、餅つき体験を開催し、様々な参加を呼びかけ「顔の見えるお付き合い」の輪を一層広げて、子どもたちの安全と地域の防災防犯に役立てる。
補助事業に要した経費 187,760円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ感染が落ち着いていることもあり、ほぼコロナ以前のようなイメージでイベントなど開催できたが、まだまだ再流行の心配もあり学校と相談しながら活動した。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.56 団体名 等々力小おやじの会	事業名称 子供の健やかな成長を目的とした親と学校、地域の連携
補助金使用額 186,946円	内 容 1 等々力小あいさつ活動を自治会の掲示板に掲載しおやじの会も参加することにより、近隣住民および自治会とのコミュニケーションを促進する。 2 近隣自治会主催の防災訓練、避難所運営訓練に参加し、有事の際には円滑に行動できるよう連携を強化する。 3 学校行事のライブ配信により、地域に開かれた学校づくりを支援する。 4 等々力小学校PTAおよび近隣児童館のイベントに協力し、児童と地域住民とのふれあいの場を増やす。
補助事業に要した経費 210,913円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 新型コロナウイルス感染症拡大前に実施していた企画内容で企画を実施することができた。一部、悪天候に見舞われたが、一部の児童、保護者より感謝のお言葉をいただくなど、第三者からも一定の評価を得られた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.57 団体名 等々力の歴史を語り継ぐ会	事業名称 等々力の歴史の魅力発信！
補助金使用額 234, 190円	内 容 昨今においては、古くから等々力に住み、土地の歴史や伝統的行事、風習などを知る住民が少なくなっており、若い世代や新たに転入してきた住民の方々は、知る機会が少ない。平成22年に等々力の歴史をまとめた小冊子を作成し、地域住民や学校等への普及を行ったところだが、月日が経過し、あらためて蓄積してきた情報を整理し、新たな歴史の情報誌として再編する。また、今と昔の等々力の様子を伝える写真展を開催し、等々力地区内外の人に対して等々力の歴史と魅力を発信していく。
補助事業に要した経費 252, 037円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 打合せ会を数回重ね、計画に沿ったプロセスを経て、イベントの実施や協力など一定の成果を出すことができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.58 団体名 おでかけサポーターズ	事業名称 一般公共機関を一人で利用困難な方々が自由に外出し自立した生活を実現する。
補助金使用額 96, 145円	内 容 玉川地域でおでかけバスを定点定期で走らせる。病院に行きたい、買い物に行きたい、友人に会いたい、でもバスがない、免許返納で自由に外出できない、障がいがあるとおでかけが困難……。このような方々のために、誰もが乗れるコミュニティバスを市民グループが運行する(毎月第2第3水曜日)。社協、町会、自治会、商店会、福祉施設、民生委員、地域ボランティアと連動しておでかけバスを走らせることによって地域コミュニティーを構築し、玉川地域の危機管理と行政への負担を軽減する。
補助事業に要した経費 240, 000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 野毛町会の防犯Pに参加、商店との関係強化で野毛町会のメンバーの中からコミバス運行の手伝い(運転)をして戴ける方が出てきた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・その他(まちづくりセンターでチラシを置いて戴いた)

No.59 団体名 特定非営利活動法人ら・ら・ら	事業名称 地域 みんなで健康づくり in 楽ちん堂カフェ
補助金使用額 229,554円	内 容 特定非営利活動法人ら・ら・らの拠点である楽ちん堂カフェにて「地域住民の健康づくり」をテーマにしたイベントを開催します。さまざまな分野の専門家をお呼びして地域住民の方々へ笑顔で生き生きとした毎日を過ごせるようなイベントをお届けします。イベント情報はポスターや広報誌を制作し下記のように宣伝していきます。 ・各町会の掲示板へポスターを掲載します。 ・各協力団体へチラシやポスターを配布します。 ・SNSにてイベント情報を掲載します。(Facebook・Twitter・Instagram等) ・近隣のご自宅へチラシを投函します。 ・ご希望の方へはメーリングリスト等を制作しイベントの最新情報をお届けします。
補助事業に要した経費 250,399円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 ボイトレ教室では腹式呼吸を経験し、発生方法を教えていただくことで、姿勢が良くなるだけでなく、なぜか元気になってくることも参加者全員が感じた。また、絵画教室に参加した青年は、驚くほど長い時間大根の葉を見つめ、いくつもの緑を使ったあざやかな絵を描いた。その様子は今まで見たことがない真剣な表情で、充実した時間となったことは間違いない。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.60 団体名 中町4・5丁目町会 防犯部	事業名称 日だまりレンジャーと緑のレンジャーで結ぼう中町コミュニティー
補助金使用額 139,528円	内 容 緑のユニフォーム着用にて小学校の登校見守り、午後6時帰宅の新BOP児童の各家庭への送り届け。毎週土曜日町内夜間パトロール。上記安心安全のための活動のほか、各行事の警備、近隣町会との会合及び活動内容や結果報告としての広報紙の印刷。
補助事業に要した経費 146,079円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 登校見守りは8月の夏休み、1月の寒中はお休みしました。4月から翌3月までの朝の見守りは10人制で1年間、雨の日も雪の日も天気に関係なく続けることが出来ました。緑のレンジャーの皆様に御苦労様と言いたい。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.61 団体名 ペット防災せたがやネットワーク	事業名称 防災力のある地域づくりのためのネットワーク
補助金使用額 163,470円	内 容 ペット防災に特化したネットワークをつくり、自治体、地域と連携し避難訓練などに参加し、ペット同行避難、避難所でのペット受け入れマニュアルを作る。さらに先行事例をモデルケースとして共有することで、地域、世田谷区の防災力を高める。HPや公式LINEなどのWeb媒体でペット防災に関する情報を発信し啓発活動とともにネットワークを広げ、ペットの飼主の地域防災参加を促す。
補助事業に要した経費 174,170円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 活動メンバーの転勤や引越しがあり、計画以上のことができなかったため。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.62 団体名 ポレポレフォト	事業名称 写真整理とコーヒータイム
補助金使用額 47,082円	内 容 ・地元地域に住むシニアバリスタが淹れる本格コーヒーを味わい、高齢になっても地元で活躍できる居場所づくり。写真を持ち寄り、話をすることで同趣味などの仲間づくり
補助事業に要した経費 76,050円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 「写真整理」をしながら参加者同士で昔の「楽しい」話ができる。コーヒーを飲みながら和やかな時間を過ごすことができた。地域情報を共有することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.63 団体名 大山みちおこし委員会	事業名称 大山道場(大山街道の宿場町として発展した用賀エリア周辺の歴史の伝承)
補助金使用額 220,429円	内 容 1. 「大山街道歴史散歩」と題した歴史散歩パンフレットを作成し地域の方へ配布 2. 大山街道歴史散歩の講演会・歴史散歩を開催: 専門家による街道の説明を聞き実際に歩く 3. 玉川台区民センターロビーで用賀を中心とした地域の歴史と魅力のPR・伝承となる展示会開催 4. 世田谷郷土資料館・川崎ふるさと館が企画する講演会等に参加し交流を図る
補助事業に要した経費 223,491円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 講演会で収集したアンケートの内容や、歴史散歩に参加した方や制作したパンフレットを見た方などの意見を総合して、楽しみながら参加して歴史を知っていただき、目的を満たしていると評価している。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.64 団体名 上用賀一丁目まちづくり協議会	事業名称 災害に強く、暮らしやすい環境作りとハートフルで愛着の持てる地域愛と絆づくり
補助金使用額 135,811円	内 容 毎月スタッフ会議を開き、事業計画を遂行するために話し合いをし、その結果を地域住民に周知するために、「上用賀一丁目まちづくりニュース」を発行し、行事予告・報告・地域情報を一丁目地域内の各家庭にスタッフがポスティングして知らせています。防犯・防火に向け子供パトロール・年末パトロール、地域住民の交流を図る「バス交流会」、専門家による「講演会」、高齢者の野外活動に向けて町会と共催で「グラウンドゴルフ」など、数多くの事に取り組んでいきます。
補助事業に要した経費 135,811円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.65 団体名 用賀地区町会連合会	事業名称 安心・安全なまちづくり推進のため、町会相互の協力及び助け合い
補助金使用額 122, 146円	内 容 町会・管理組合や地域活動団体等と共に安心安全の啓発等の充実を図るために活動します。現在、考えている取り組みとしては、防災（在宅避難や事前の備えなど）や交通（自転車のマナーや事故防止など）、防犯（犯罪対策や犯罪被害の防止など）等の分野について、地区内で協議して作成したチラシを地域に向けて発信することです。また、地域の共通課題に備えるために、「講演会」の開催を通して、住民自らが考える力を強化するとともに、専門知識の定着を図りたいと考えます。
補助事業に要した経費 122, 146円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 防災・交通啓発チラシをおおよそ年間計画どおりに作成・発行し、各町会・小中学校等に配布することを通して、防災や交通分野に関わる情報や対策等の普及啓発を行うことができました。 また、防災講演会を実施することによって、住宅火災の様々な原因及び対策について事例を踏まえて学ぶことができ、地区内の防災力向上を図ることができました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・その他（「2023 防災フェスタ in 砧公園」への出展参加）

No.66 団体名 陽果会	事業名称 希望 絆 感謝 〜ほっと ひととき〜 おたがいさまの会
補助金使用額	内 容
補助事業に要した経費 369,275円	される人・する人ではなく、年齢も肩書きも全て取り払って平らかにお互いにさりげなく気遣い合うことを大切に次の活動をする。 1. 支え合い交流活動(予約もいらず参加できる会。月に1回程度、用賀まちづくりセンター3階活動フロアを中心に開催。親しく集い交流する。一緒にひと時を楽しむ会。情報交換や演奏会、歌う会などを実施) 2. 食・日用品応援プロジェクト(フードライブ 暮らしづらさを感じていらっしゃる方々への「おたがいさままごころ便」活動) 3. ホンデリング(古本を通じて犯罪被害にあわれた方々を支援する活動) 4. 交通安全朝顔プロジェクト(交通事故被害児童の残した朝顔を育て、その種を交通安全の願いと共に身近な方にお分けする活動)
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ・広報活動へ関係団体に協力依頼した。町会回覧や掲示板使用回数を増やしてもらった。 ・多数の方々にご参加いただいた。 ・男性の参加者が増えた。 ・同時開催の能登半島地震チャリティや犯罪被害者支援ホンデリング、食と日用品の応援プロジェクト、交通安全朝顔プロジェクトへの関心、ご理解、ご協力が参加者からあった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.67 団体名 アクティブチャイルドクラブふたこ	事業名称 運動を通じて、ストレスに負けない心と身体をつくりましょう！
補助金使用額 242,500円	内 容 主に多摩川河川敷の公園や小学校の体育館で、未就学児・小学生を対象に様々な運動やバドミントンを行います。単に、年齢や体力レベルに応じて「運動基礎能力」を発達させるだけでなく、異文化(外国人のこども)や様々な学年が集まって運動することにより、自主性や多様性も身につけます。近年、習い事の多くは、学年ごとにクラス分けされている為、上級生の動きを見て真似る、下級生に教えてあげる、などの機会が極端に減っており、そのようなコミュニケーションも大事だと考えて運営しています。また、季節の催し物をしたり、書初めなど日本の文化活動も行い、子供から大人まで地域住民が繋がりを持って楽しめる工夫をしています。
補助事業に要した経費 696,346円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 当活動が口コミ等によっても地域に広まり、大人向けにも新しく活動する機会が増えた。子供の学校以外の繋がりや父親同士の繋がり deepen したり、また、この地域に住む外国人も、地域の繋がりができたと大変喜ばれた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.68 団体名 お舟会	事業名称 2023 カヌー体験 & ダンボールボートを作って乗ろう！
補助金使用額 209,035円	内 容 地域活性化のため、二子玉川の魅力である美しい多摩川を活かし、地域住民に自然の楽しさを体験してもらうイベントを企画。幼稚園、小学生とその保護者を対象に2日間のワークショップ形式で行います。1日目には親子で強化ダンボールのボートを組立て、ひょうたん池または野川で浮かべ、2日2日目は、本物のカヌー乗船体験会を実施します。安全確保の為、専門家の指導のもと、川に対する勉強会を行います。両日、地域のカヌー部のサポートやライフジャケットも用意して、安全確保を万全にします。材料の準備、参加者募集をする為の告知活動を行います。開催後は反省点や効果を振り返り、地域の絆を深める活動に繋がっていきます。
補助事業に要した経費 302,901円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 段ボール製造業の企業2社にご参加頂き、新しいネットワークを繋げる事ができた。また、段ボールボートと本物のカヌーと同時に乗船体験会を行うことで、地域の子供達に川遊びの楽しさを身近に感じてもらえたと実感した。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.69 団体名 スマイルひろば	事業名称 区営玉川3丁目アパート住民及び近隣住民の緑化活動やラジオ体操、クリスマス会また、食を通した地域交流とゆるやかな見守り体制づくり
補助金使用額 217,201円	内 容 区営3丁目アパート敷地内の花壇や隣接する緑道に花を植え、定期的にラジオ体操を開催する。また、社会福祉協議会と連携し、クリスマス会を開催する。その他、七夕の会や栄養ワンダー(食育イベント:高齢者向け 低栄養予防講座／子ども向け 離乳食講座)を開催する。このような事業を通して区営玉川3丁目アパートの住民と近隣住民や保育園等との交流を図る。
補助事業に要した経費 217,201円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.70 団体名 瀬田町会	事業名称 瀬田ふれあい運動会
補助金使用額 0円	内 容 運動会をとおして、地域の方々、子ども達、保護者と共に、競技することによってふれあい、顔見知りになっていく目的があること。また、学校部活紹介リレーや地域コミュニティ団体、町会、商店会等紹介もプログラムに含まれており、地域で顔見知りになり地域ネットワークを構築していき、見守り、防犯、防災に強い街づくりを目指します。
補助事業に要した経費 551,659円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 町会会員だけではなく、PTAや地域に住んでいるの方々、地域団体との良い交流ができたと思います。また、会場の瀬田中学校も災害時の避難所になることから、場所や徒歩で来る時間などを家族で確認することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。 ・その他(運動会設営準備、賞品配布、近隣警備)

No.71 団体名 せたぼん・瀬田の本棚	事業名称 森とおはなし～森とものがたりを通じてまちをつなぐ～
補助金使用額 198,231円	内 容 ・「瀬田四丁目旧小坂緑地利活用検討会議」に参加し、瀬田四丁目旧小坂緑地およびそこに建つ旧小坂家住宅で、紙芝居、読み聞かせなどを実施、自然の中で「声」「音楽」「物語」などを体験する場を作る中で、自然と自分たちの生活のつながりを伝えていきたい。 ・活動を通じて、自然と協調したゆるやかで優しいコミュニティづくりをしたい。
補助事業に要した経費 204,831円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 定例の読み語りから、単発のイベント中心の開催に移行してみたことで、活動者の負担が減り、活動が継続できてよかったと思う。講師の都合が悪くなり変更することになったが、新たなつながりを得ることができたし、たくさんの参加者を迎えることができてよかったと思う。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.72 団体名 せたま	事業名称 瀬田、玉川 防災に強い街づくりを目指す
補助金使用額 1,200円	内 容 ・町会、自治会、商店街で開催される様々な地域イベントに参加し、ペット同行避難や、日頃からの防災に対する自助、共助について啓発活動をする。 ・避難所でのペットに対する飼養についての情報共有をし、併せて災害時の必要とする物品や案内をチラシ作成し配布する。
補助事業に要した経費 1,200円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 昨年度よりも事業を縮小し活動をしたが、目的として瀬田小・中学校避難所運営委員が主催する避難訓練に参加しペット同行避難のルールや避難したペットの受け入れ場所などを他の運営委員と再確認することができた。また夏に開催があったニコッタ祭りに参加でき、ペット同行避難についての啓発活動ができたため。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.73 団体名 TAMAGAWA BREW 事務局	事業名称 多摩川河川敷で地域のつながりをつくるイベント TAMAGAWA BREW vol.5
補助金使用額 107,567円 補助事業に要した経費 266,567円	内 容 多摩川河川敷のオープンスペースに、近隣地域や多摩川流域で活動する多様な主体が様々なコンテンツを持ち寄って、くつろぎ・交流・体験・発見にあふれるイベントを実施する。地域の飲食出店、とんかち村(子供DIY)、スポーツ(スラックライン、カヌー体験)茶会(野点)などを予定。出展者として参加できる機会を広く開きながらも、公共空間を使ううえでの配慮や出展者どうしの関係性づくり、来場者との交流の大切さなどに共感してもらったうえで、出展者と一緒にイベントをつくっていく。4月から毎月1回だれでも参加できる集会を開き、出店者、ボランティア、街に住む人(参加者)で意見やアイディアを出し合い進めている。ちょっと地域のために何かやってみたい、地域の知りが欲しいという住民の参加があり、地域コミュニティへの参加のきっかけとなっている。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 計画当初予定していた日程が、玉川花火大会のためのフェンスが設置されることが分かり、日程を1か月前倒しに変更したため告知などの準備時間が短くなってしまった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.74 団体名 特定非営利活動法人 せたがや水辺 デザインネットワーク	事業名称 多摩川のちいさな映画祭
補助金使用額 242,500円	内 容 活動地域である多摩川の近隣の公共施設等で、多摩川に関する映画2本の上映会と映画監督などを招いた対話型のアフタートークを実施します。後日、対話会の様子をお知らせにしてウェブ等で発信します。
補助事業に要した経費 244,000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 映画の上映、交流会については、計画どおり取り組むことができ、特に参加者との交流会については予想以上の内容と反応で予想以上の成果を得られたと思うが、事後の報告については活動者の余力がなく、個人的なSNS発信にとどまってしまう、広く地域の方に伝えるまめまで至らなかった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.75 団体名 ニコッタまつり実行委員会	事業名称 ニコッタまつり
補助金使用額 183,474円	内 容 ニコッタまつりは、二子玉川地区の福祉的課題解決のため、二子玉川地区を構成する「玉川」「瀬田」の2地域の交流の場、住民同士の顔が見える地区づくりを展開するための基盤創出として企画された初開催の事業。ニコッタまつり実行委員会のメンバーは二子玉川地区の関係者で構成されており、毎月開催する実行委員会内のワーキングを通じた自由な意見交換を行い、交流を深めている。誰でも参加できるボッチャ大会や福祉施設からの出店、地域団体のPRコーナー、昔遊びゲームコーナーとなどのイベントを通じ、多様なステークホルダーが交流できる貴重な機会にもなると考えている。
補助事業に要した経費 299,128円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ニコッタまつり当日は、予想を大きく上回る900名近くの来場者数となり終日大盛況だった。開催の目的であった「異分野で活動する方々や異なる年齢の方々が気軽に交流できる機会の創出」を達成できたと感じている。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.76 団体名 二子玉川大山みちフェスティバル実行委員会	事業名称 大山みち周知活動(二子玉川大山みちフェスティバル)
補助金使用額 242,500円	内 容 地域活動を行う団体・住民が協働して、地域の資産である「大山みち」を周知する活動を行う。大山みちが通る商店街には、子ども達が生み出したフラッグや絵とうろうなどを展示する。また、大山みち沿いの二子玉川小学校を会場とし、誰でも参加できる、地域の絆づくりとなるフェスティバルを開催する。
補助事業に要した経費 582,500円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 とうろうの展示など新しい方法を取り入れながら行うことができ、新しい大山みちの風景を作ることができた。メインの活動となるフェスティバルも、地域で活動する団体がそれぞれに参加者だけでなくスタッフも含めて楽しめる内容を検討しながら実施することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.77 団体名 二子玉川地区交通環境浄化推進協議会	事業名称 横断歩道を安全に渡るためのルールをみんなで踊って覚える事業 「横断歩道の歌の動画コンテスト」
補助金使用額 242,500円	内 容 地域全体の課題である、無信号横断歩道をはじめとする横断歩道について、安全に渡ることでできる空間にするため、「歌いながら踊る」を通して交通安全の啓発に取り組みます。 一昨年度、地域でつくり、昨年度、二子玉川小学校の児童や地元の住民が歌って楽曲にした「横断歩道の歌」について、今年度は歌いながら踊る動画を募集することにより、交通安全の啓発を行います。
補助事業に要した経費 360,000円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 地域全体の課題である、無信号横断歩道をはじめとする横断歩道について、安全に渡ることでできる空間にするため、「歌いながら踊る」を通して交通安全の啓発に取り組み、地元の住民が歌って楽曲にした「横断歩道の歌」を踊る動画を作成し、啓発に取り組めたこと。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.78 団体名 二子玉川ライズT & Rおさんぽパトロール隊	事業名称 おさんぽパトロール隊
補助金使用額 139,047円	内 容 ペットの散歩中やウォーキング・ジョギングなどの際にできる“ながらの巡回活動”は昼夜を問わず、自由な時間帯で、ランダムなエリアを巡回でき、とくにペット連れは往来から目を引く特性もある。二子玉川周辺は、「多くの外来者、街区～緑地や河川敷」といった多様な環境があり、「見せる防犯」を基盤とした「おさんぽパトロール隊」を結成することで、広範囲の防犯強化、防犯・防災意識の啓発、地域の活性化やマナー向上に寄与してきた。二子玉川ライズタワー＆レジデンスの居住者、または玉川町内などの近隣住民の中で、「周辺地域の防犯活動や連帯感に興味をもち、『おさんぽパトロール』の目的に賛同して入隊した住人やペット飼養者＋ペット」は、おさんぽパトロール隊員として「見せる防犯」を主軸に地域貢献を行う。
補助事業に要した経費 169,047円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 COVID-19の位置づけが変わる可能性が高かった行政の方向性や気候の不安定で方針・企画・計画を立て難く実行性が不安定な年となった。2019年玉川警察書以降、21年度（東京都）や22年度（警視庁）からの表彰を受け、個々のパトロール活動はモチベーションを維持し、パトロール活動は滞りなく遂行できた。また、計画していた四半期アンケートのWEB併用(Forms)を本年度に試行し、これまでよりも多くの意見を隊員から吸い上げられる検証も得られ、活動発展に繋げる基礎を構築できた。一方で、猛暑と予報以上の寒い冬場、桜開花も遅延するほどの天候不安定で、「おさんぽパトロール」の出足も、いつもの年と比べてかなり鈍った。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・その他（当該おさんぽパトロール隊が在籍する1丁目町会員には、最低四半期ごとに報告書を投函、情報共有を行った。）

No.79 団体名 正しいラジオ体操普及隊	事業名称 正しいラジオ体操の普及
補助金使用額 130,863円	内 容 ・ラジオ体操を通して、地域の交流と絆を深め、仲間意識の促進を図る。 ・児童生徒や地域住民及びスポーツ団体に、正しいラジオ体操の普及と習慣づけを図る。 ・健康に関心を持ち、維持促進の気持ちを育てる。
補助事業に要した経費 131,807円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナも5類に変更になり、コロナ禍前の状態に戻りつつあります。参加者は運動が思い切りできる状態になり予想以上の喜びを得ております。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.80 団体名 「こどもとわたし」“元気の日”	事業名称 まったりカフェ
補助金使用額 200,187円	内 容 平成27年度より継続している「まったりカフェ」事業を今年も行いたい。今年度はCOVID19が5類になったことで、感染防止に努めながらも、活動を以前の形に再構築していく努力をする所存である。地域の幼い子どもと親が自由に参加し、支援者や地域の方々、参加者同士が、食育・音楽講座・遊びなどを通じて自然に楽しく交流する時間を持つ活動、「まったりカフェ」の交流の輪を広げていきたい。
補助事業に要した経費 215,187円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 コロナが5類になったことで、従来の形での活動ができるようになったこと。少しずつではあるが、継続的に参加する親子が増えてきたこと。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・その他(他団体の SNS で案内してもらった)

No.81 団体名 桜新町親和会	事業名称 多世代間が交流する街づくり
補助金使用額 242,500円	内 容 ・クラブ活動(ボッチャの会)を主催することにより、多世代の参加を促し、コミュニケーションの場を作る。 ・ゴミゼロ運動、では近隣の学生をはじめ5団体が参加。呑川、桜並木等の清掃活動を通して、環境意識を高めながら多世代交流を図る。 ・天体観測会、では高校の天文台設備を利用し、高校生、子供たち、PTA、講師等と地元で見える星空を体験し、子供たちの夢を育む。 ・落語会、を実施して主に高齢者の方々に笑い与会話の機会を作る。 ・こどもまつり、では12団体が協力。実行委員会として活動することにより、多世代交流を図る。 ・親和会だより、を発行することにより、地域の歴史、町会のイベント、事業内容を広く知ってもらう。
補助事業に要した経費 373,184円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.82 団体名 NPO法人 世田谷スポ・レクネット	事業名称 障がいのある人もない人みんなでスポーツ・レクリエーション活動で仲間づくり
補助金使用額 220,260円	内 容 地域住民をはじめ町会、民生委員、地域の学校に通う学生、子供たちと共に、障がいのある人、ない人、国籍、年齢を問わず、多様な参加者同士でも競いながら楽しめるスポーツやレクリエーション交流イベント開催。また、スポーツ・レクリエーションに関する勉強会やワークショップの開催。ユニバーサルスポーツであるボッチャ交流会・体験会を定期的に開催してボッチャの普及と地域交流。
補助事業に要した経費 509,826円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 イベント参加者も増え、安定して事業を行うことができた
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.83 団体名 東深沢小学校 おやじの会	事業名称 おやじの会が取り組む、子供たちと地域の大人たちとの、地域交流
補助金使用額 228,643円	内 容 1. スポーツゲーム大会を実施 2. 世田谷区主催のいかだレースに出場 3. 小学校で一泊二日の” 学校でキャンプ” を実施 4. 商店街のお祭りで屋台の手伝い 5. クリスマスに向けた工作品を作成する” 工作教室” を実施 6. 東深沢小学校から羽田空港へのナイトウォークを実施
補助事業に要した経費 555,652円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 昨年はコロナの影響で中止となったイベントもあったが、今年は計画していたイベントを全て行うことができた。構成員が増加したことによりイベント規模も大きくなったため、地域の方々に協力も要請して、ご協力頂けた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.84 団体名 深沢・桜新町さくらフォーラム	事業名称 景観・環境・歴史等の理解を深め地域への親しみや絆を広げる
補助金使用額 177,576円	内 容 これまでに当補助金を受け、情報紙「ニュースレター」を発行してきました。引き続き地域の景観・環境・歴史等々の理解や親しみの醸成を図り、また樹木医の講師を招請し「みどりの観察会」や桜や桜並木についての知識を得、地元の住民の皆さまと共に学び・話し合う機会を持ちたいと考えています。 また、呑川親水公園、桜並木の清掃活動の定例化により地元の方々に地域の景観・住環境の保全に対する関心を持っていただきたいと考えています。
補助事業に要した経費 177,576円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 団体の支柱であった元代表の急逝により会の存続も危ぶまれましたが、ニュースレターを年2回発行し、行事「花と木を見る会」を主催、また会員による呑川親水公園側道清掃などの活動を実施。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.85 団体名 深沢ぎんなんまつり実行委員会	事業名称 深沢ぎんなんまつり
補助金使用額 242,500円	内 容 深沢小学校校庭で小学校関係者と地域団体の有志が各催しを準備し、開催する祭り。小学校校庭で採れたぎんなんの実を、同じく有志が剥き、当日までに配付の準備を行う。
補助事業に要した経費 295,713円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ感染防止を意識することなく飲食を含めて生き活きと企画運営することができた。地域の繋がりを深めるという目的は大きく達成された。事故、怪我、感染症の報告もなく取り組めた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.86 団体名 みしまの森学舎 あいさつ運動推進委員会	事業名称 学校・家庭・地域の三位一体でのあいさつ運動
補助金使用額 45,469円	内 容 みしまの森学舎のあいさつ運動推進委員会が中心となり、学校・家庭・地域に呼びかけ、あいさつ運動の普及・推進を図る。 ①毎月1回推進委員と協力者がベストやリボンを着用して、校門や交差点などの街角に立ち登校する児童生徒及び通行中の方々へあいさつ運動を実施する。 ②校門や街角に「あいさつ運動実施中」ののぼり旗を立て、学舎エリア全域で運動を展開する。 ③児童生徒に「あいさつ運動ポスター」を募集し、学校周辺や町会の掲示板に掲示する。 ④また、ポスターの絵を使用し年2回チラシを作成。全児童生徒に配布する。
補助事業に要した経費 60,253円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 ・例年通り、学校・家庭・地域によるあいさつ運動が実施できた。 ・学校行事の日程に合わせてのポスターコンクールが実施できなかった。 ・推進会議の開催ができ、有意義な意見交換ができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.87 団体名 みんなのコミュニティさくら	事業名称 みんなのコミュニティカフェさくら ～桜の木の下で0歳から100歳をつなぐコミュニティ～				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="65 405 414 461">補助金使用額</td> <td data-bbox="419 405 603 461">111,550円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="65 573 414 629">補助事業に要した経費</td> <td data-bbox="419 573 603 629">148,674円</td> </tr> </table>	補助金使用額	111,550円	補助事業に要した経費	148,674円	内 容 深沢8丁目の花とみどりの豊かな庭のある住宅の一角で、誰でも気軽に立ち寄って、”誰かさんと一緒”に過ごすことのできるコミュニティカフェを基本的に毎月開きます。桜の木やみどりに囲まれた空間を地域に開き、心も体も和む手作りのお菓子とお茶を味わったり、花やみどりを活用したものづくり(手工芸)を楽しんだりすることのできる時間を提供します。高校教師・桜新町商店街での喫茶店経営を経て、現在訪問介護福祉士でもあり、民生委員・児童委員を務める代表が、福祉などくらしの情報を提供することもできます。
補助金使用額	111,550円				
補助事業に要した経費	148,674円				
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 年間10回の開催を計画していましたが、参加者からの要望があり、毎月開催年間12回を実施できました。また、コロナ以前の飲食を伴うコミュニケーションに戻したことに加え、コロナ禍の代替策として行った、庭の花や草を使った手工芸も併せて行うことができました。				
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・その他(連携団体発行の出版物の取材に応じ、当団体の活動の内容を話した。)				

No.88 団体名 祖師谷子育てネットワーク「そこだね」	事業名称 祖師谷子育てマップ＆ダイアログ2023
補助金使用額 200,838円	内 容 年々子育て世帯との地域のつながりが作りにくくなっており、コロナにより子育てが以前に増して孤立している。障害を持った子どもやその家族、外国籍の方などいわゆる社会的弱者については、その傾向が顕著である。そこで、今年度は、第3版となる子育てマップの発行（5000部）にとどまらず、多様な家族を地域で支えあうため、障害のある子や不登校児、外国籍の家族など様々な「マイノリティ」と向き合う方たちとの対話を重ねる。また、そも記録を残すことで、対話の場にいなかった方も地域の多様性を発見し、インクルーシブな地域の在り方について考える機会になる。
補助事業に要した経費 300,784円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 子育てマップは予定通り発行できた一方、ダイアログの回数は4回から2回になった。各活動については、充実した内容になった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.89 団体名 祖師谷子ども健全育成の会	事業名称 子どもの安全・安心 且つ 健全育成
補助金使用額 81,257円	内 容 町会・自治会・祖師谷小学校保護者・地域住民の協力で毎月行う「見守りあいさつ」キャンペーン、多くの団体が参加・協力して行う「そしがや夏まつり」(コロナ感染症流行の為3年間中止)、町会・自治会と児童・教職員と一緒に「地域清掃」、祖師谷小児童・保護者・教職員等に読み句・絵を募集して作製した『そしがやいろはかるた』で行う「かるた大会」等、子どもたちが地域の中で温かく見守られ健やかに育まれていく取り組みを通して、子どもと地域の大人が”顔と顔で繋がる”をコンセプトに、事業・活動を行う。
補助事業に要した経費 81,257円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ禍の中で中止していた「そしがや夏まつり」を4年ぶりに実施することができた。多くの団体の協力を得て、たくさんの来場者でにぎわった。PTA・地域住民の協力を得て行う毎月の「あいさつ見守り活動」、「子ども安全ボランティア」、祖師谷小学校児童・教職員と一緒に「地域清掃」、「そしがやいろはかるた大会」、「ふれあい給食」、と、顔と顔で繋がるをコンセプトに、コロナ禍前と同様の事業・活動を行うことができたのは大きな成果であった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.90 団体名 一宮庵成城クラブ	事業名称 一宮庵で集う会
補助金使用額 141,688円	内 容 和紙や端切れを使ってかわいい小物を作る「お花教室」を五回開催。手を動かしながら定期的に集まることで関係性を深めることができる。多世代で笑いながら楽しい時間を過ごし元気になれる「講談の会」「大道芸のショー」を開催する。どちらも出演者と会話を交わして一緒に楽しむ参加型のプログラム。
補助事業に要した経費 146,070円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 近隣の未就学児対象の塾の方々と地元にお年寄りが触れ合えてここから笑いあう楽しいひと時を提供できた。 地元を活性化させたいと願う方に知り合うことができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.91 団体名 成城フラワーメイト	事業名称 お花でつながる 成城の輪
補助金使用額 38,260円	内 容 町の2ヶ所の花壇に花を植え、緑化活動を通じて町の魅力アップを図る。また、緑に関わる講習会や遠足を企画し、広く参加者を募り、花を愛する仲間たちの輪を広げ地域コミュニティの活性化につとめる。
補助事業に要した経費 38,260円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 花壇については、夏の暑さのためなかなか作業が出来なかった。寄せ植えのサロンは、計画通り実施できた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。

No.92 団体名 世田谷区立千歳小学校PTA	事業名称 子どもたちの登下校を保護者と地域の連携によるパトロール活動
補助金使用額 46,445円	内 容 PTAより貸与するオリジナルネックストラップを保護者、教員、おやじの会、自治会、学校サポーターなどに装着いただき、各自可能な時間にながらパトロールを実施していただく。様々な時間帯にパトロールの目があることで犯罪者の嫌う「コミュニティが機能している地域」を目指す。
補助事業に要した経費 48,400円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 保護者、教員、おやじの会、自治会、学校サポーターの方々に協力していただいて、各自可能な時間帯にながらパトロールを実施し、様々な時間帯にパトロールの目があることで防犯対策を高めることができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.93 団体名 法人格 成城自治会	事業名称 「まちづくり・わくわくアップ」活動
補助金使用額 198,000円	内 容 成城は永年継続して住民主導のまちづくりに取り組んできた。2024年7月にまち誕生100年を迎える。創設当初より永年展開してきた住民による住民のためのまちづくりをさらに継続発展させる担い手を生む「種まき」や「卵のふ化」に相当する活動を企画、実行する。小・中規模の集会、仲間づくり、広報活動等、さまざまな機会を「始めの一步」から創作する。若い力が参画する「ワクワクするまちづくり」を語る場を提供し、100年祭のウォーミングアップにもつなげたい。
補助事業に要した経費 200,551円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ・全てにおいてゼロからの出発であったが、幸い成城100年祭実行委員会に参加の若手メンバーが「種」となり、初会合参加者18人を得、内9人で「若手チャレンジャーの会」が立ち上がり、その後毛俗的な会合開催が出来るようになった。 ・3月末には「成城100年祭ガイドブック」の自力発刊として若者たちの自主行動が結実していた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.94 団体名 「子どもぶんか村」発表会実行委員会	事業名称 第 19 回「子どもぶんか村」発表会
補助金使用額 242, 500円	内 容 子どもぶんか村の7つのくらぶが一年間の活動のまとめを発表する。今年度の会場は船橋希望中学校。舞台・展示を工夫し、リモートを併用したハイブリットで開催する予定。各くらぶから選出された子ども、若者と地域の大人で実行委員をつくり、子ども、若者から実行委員長、副実行委員長、書記が選出されおよそ60人で運営していく。発表会を成功させるために、スローガンを決め、チラシをデザインし、係決めをする。司会、受付、会場、音響、照明、中継など自分のくらぶ以外でも全体の係になって毎年活躍している。
補助事業に要した経費 260, 186円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 各くらぶから子どもの実行委員が選出され、おとなとの合同実行委員会を6回行った。議長は中学生の実行委員長と副実行委員長が務め、委員会で出されるたくさんの意見を聞きながら決めていった。子どもたちの力を発揮する場面が増えていたのを感じた。また、発表会終了後は、大人たちは保護者、地域の方々、講師、地区委員の方々と交流会を開催し、子どもたちは今年初めて子どもたちだけのお疲れ様会を設けた。反省や感想を言い合った後、ジュースやお菓子をいただきゲームをしたと聞いて子どもたちの気持ちの盛り上がりを感じて嬉しかった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.95 団体名 NPO法人世田谷ぶんか村PLACE	事業名称 プレミ演劇ワークショップ
補助金使用額 213, 586円 補助事業に要した経費 213, 586円	内 容 千歳船橋を拠点とした劇団の協力を得て、子どもたちに演劇を使った表現活動から、生きる力を身につける。それは、世田谷区の教育ビジョンの「人格の完成をめざして」にまとめられている通り、豊かなところを育てる、社会の一員としての自覚を育てる、考える力を育てる、国際社会で大切にされている道徳性や態度を身につけることに繋がると考えるからである。 学校は教育改革の後、参加型、体験型授業が進んでいる。自分の思ったこと、考えたこと、他者の考えを聞いて考え直したことを表現し、他者の異なる考えを受け止め新たにより良いものを作り出していく力などが求められており、それらは演劇をとおして身につけられると考える。子ども対象ワークショップ、演劇の有用性を伝える講演会を実施する。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 当団体で計画した日程案が、劇団丸福ボンバーズの本公演日程と重なり計画通りに進められなかった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.96 団体名 希望丘小学校 とと会	事業名称 子供達の明るく希望あふれる未来へ向けた、父親と学校・地域との連携事業
補助金使用額 219,146円	内 容 希望丘小学校在校生の父親が中心となり、子供達の健やかな成長と地域の健全なる発展を目指した事業を展開する。 ・地域行事・防災訓練の運営・参加協力を通じた地域との交流 ・地域と学校の保護者・子どもをつなぐスポーツ大会やワークショップの開催 ・地域行事・学校行事におけるパトロール ・オール世田谷おやじの会、世田谷区小学校PTA等が主催するスポーツ大会へ参加し、他団体交流を行う。 ・活動計画検討会。活動報告会の開催など
補助事業に要した経費 219,146円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 町会・自治会・PTAと連携しながら、地域ネットワークを強固なものとして防犯広域災害等への対応力を工場させるという当初目的が叶った。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。

No.97 団体名 子ども広場実行委員会	事業名称 子どもを育む地域の力
補助金使用額 39,634円	内 容 11月3日に船橋地区町会自治会連合会が主催する希望丘公園での「ふれあいまつり」参加し、子どもエリアとして設けられた丘の上で、子どものための遊びの広場を展開している。参加する団体は地域の学校のPTA、親父の会、地区委員会、児童館、青少年交流センターなどで日頃からそれぞれの活動を理解し、応援し合える関係を築くことは大切だと気づいた。補助金は子ども理解のための研修費、ちらし、ポスター等に使われる。
補助事業に要した経費 39,634円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 研修を通して子どもを理解する機会を設けた。 参加者同士が交流することによって子どもの成長を応援し合える関係づくりができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.98 団体名 デ・バンデス	事業名称 千歳台を盛り上げよう 楽しんで暮らせる千歳台にしよう 2023
補助金使用額 216,001円	内 容 千歳台小学校在学生の父親を中心に活動しています。子供たちが笑顔で元気に生活できる環境を千歳台小学校・めばえの会・廻澤町会・OB・地域の方々と協力の上、運営しています。 千歳小学校地域のイベント等に積極的に参加し、地域の方々とコミュニケーションをとり、地域の子供たちの成長を一緒に見守っています。地域と小学校を結びつけ、千歳台小学校在校生の家族へ、まだ気づいていない千歳台地域の魅力を発信します。 取り組みとしましては、親子スポーツ大会(5月)学校キャンプ(8月)雪の滑り台(1月)などを行います。
補助事業に要した経費 226,001円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.99 団体名 バージの会	事業名称 ①バージの会講演会 ②子育てサポーター講座
補助金使用額 78,536円 補助事業に要した経費 100,098円	内 容 ・「バージの会講演会」では、多世代が集まり、ともに学ぶ会を開催している。今年度は発達障害について学ぶ講演会を企画。 ・「子育てサポーター講座」では、若い親世代に寄り添ってゆったりと子育てするヒントなどを共有する講座を開催する。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 ①については、「発達障害」という難しいテーマであったが、検討を重ね、児童館の全面的な協力も得ることができ、産業化社会と障害の関連を考えるという、有意義な内容の講演会になった。 ②については、①と内容的な関連性があり、ここでも児童館との連携ができた。企画、準備、事前アンケートの実施など密接に協力し合い、その結果、参加者のアンケートでも「講師の話をさらに聞きたい」という感想が多数寄せられた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.100 団体名 船橋会	事業名称 防火・防災事業
補助金使用額 188,812円	内 容 船橋地区にある指定避難所や災害時に役立つもの(防火水槽、スタンドパイプ、消化器、AED、防災倉庫など)や危険箇所を地域住民が主体となって書き込んだ地図「船橋限定防災マップ」を作成する。地域住民がマップの作成に関わることで、自分たちのまちの再発見、防災に関する地域の課題が見つかる、また多くの人が防災訓練に参加することにより、地域コミュニティの活性化、地域防災力の強化を図る。上記の活動により、いざという時に助け合える地域を目指す。
補助事業に要した経費 237,497円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 部長・組長交流会の中で、地域住民と防火防災対策や課題について意見交換を行ったことで、防災意識の高まりを実感できた。また実際の防災訓練などに参加・興味を持ってくれる人が増えた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.101 団体名 船橋小学校オヤジの会	事業名称 児童中心のイベントを企画、開催することで船橋地区における結束を深める
補助金使用額 159,013円	内 容 ・小学校、公園、神社等で実施されるお祭りに参加。一つの出展者としてだけでなく、企画段階から主催者や他団体と協力し関係を深めるとともに、開催中の防犯パトロールなど、運営のサポートに携わることで行事の安全強化および主催者の負担軽減に貢献する。 ・地区防災訓練において、町会や他団体との連携を深めるだけでなく、本会としての有意義な貢献方法を継続的に検討、実施することで防災意識を高める。 ・学校に泊まろう会では、児童に災害時の避難所想定した宿泊訓練を体験してもらうことで、地域の防災対応力と、防災意識醸成を図る。（主な内容として、日中は防災学習、炊き出し、夜間はテントを張った宿泊訓練を実施。過去3年間は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、代替イベントとして花火見学会や交流イベントを実施）
補助事業に要した経費 179,013円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.102 団体名 学び場いとをかし	事業名称 勉強だけじゃない様々な”学び”を通して地域でつながろう
補助金使用額 73,834円	内 容 ・児童の学習支援 ・折り紙、切り紙など手先を使う遊びや、季節に合わせたレクリエーションを取り入れて、豊かな体験学習の機会をつくる ・学びを深めるために、児童を対象とした講座を実施する ・地域の祭礼、イベントに参加し、地域との結びつきを深める
補助事業に要した経費 73,834円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 月1回のベースの開催は出来たこと。 低学年の参加者が増え、より地域に根付いてきた実感が持てた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 その他(町会・自治会のイベント時にチラシ等を配布し、ポスター等を掲示した)

No.103 団体名 ミニコミ「ちとせ」編集委員会	事業名称 ミニコミ「ちとせ」～地域史に学ぶ～
補助金使用額 89,685円	内 容 ①船橋まちづくりセンターで地域誌の座談会を開催する。農地だった船橋、廻沢(千歳台)が土地区画整理等によりどのように現在の町になったのか、団地建設、学校開設などを振り返り、地域史を学ぶ機会とする。 ②①の座談会の内容をミニコミに掲載し、町会、自治会、学校等に広く配布する。その際、カラー版印刷とする。
補助事業に要した経費 89,685円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ①船橋・千歳台地区の戦後の発展を中心した地域史の座談会を開催し、その概要をミニコミ128号紙上に掲載してカラー印刷で8千部作成し、地域に配布した。座談会の人選、テーマ、事前準備等、多くの地域の方の協力を得て実現した。 ②船橋まちづくりセンターを始め、町会・自治会の協力を得て、座談会には50名もの方が参加され、多くの謝意をいただいた。 ③ミニコミ128号の記事とりまとめに当たっては、郷土資料館やデジタルミュージアムなどの協力を得て、戦後の発展の資料や昔の貴重な写真の提供をいただき、記事をわかりやすくつたえることができた。 ④座談会開催までの過程で、町会・自治会、学校等と多くの交流が生まれた。配布したミニコミ紙は、学校や地域で活用され好評だった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.104 団体名 船橋希望中おやじの会	事業名称 地域と親子のコミュニティ促進事業
補助金使用額 49,799円	内 容 毎月1回土曜日夜に中学校の体育館で各種スポーツをする「親子スポーツ」を開催しております。参加者も多い月で100名を超え平均でも50名前後で楽しく汗をかいております。11月には「お父さんのスポーツ大会」を開催し交流を深めています。学校・PTA・町会・自治会地域団体のご理解をいただき、この活動を通じて地域の意識を高め、祭礼・イベント時のパトロールや物品搬入・搬出などの地域活動への参加・支援を行い子ども達が安心して生活できるようにサポートしてまいります。
補助事業に要した経費 49,799円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 コロナ禍の後で、運営メンバーの招集や、イベントの企画要領の伝達が予定通り機能しなかったため。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。

No.105 団体名 NPO法人 砧・多摩川あそび村	事業名称 多摩川という特色のある地域資源を生かす専門知識と貴重な地域イベントの継承
補助金使用額 207,481円	内 容 1)多摩川の自然に直に触れて学び楽しむ機会として、多摩川漁業協同組合に所属する講師による釣り体験会を行い、専門知識の継承と川の安全に詳しい人材育成を行う。 2)町会や学校、児童館など、やっと動き始めた地域イベントを継承するため、支えていく地域のボランティア人材の協力体制を整え、次世代との日常連携を行っていく。
補助事業に要した経費 220,681円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 ①つりクラブは天候に泣かされ、通常3回のうちの2回開催。それも振替日対応だったので日程が合わず参加者が少なくなっていました。ただ、自分の住んでいる地域を流れる多摩川の釣り事を体験できたことは、キラキラした目で魚を追う様子に、子どもたちと自然とを繋ぐことができました。また、子どもスタッフと一緒に実施することにより、サポートしてくれた子どもたちの知識と経験の積み重ねになりました。また、川の安全ガイドブックを作った事は、私達の活動を言語化し、地域の皆様につなげていくとても大きな財産となりました。 ②児童館や自治会のイベントに参加する中で、お互いの活動を支え合う関係づくりをさらに強化することができました。また、私たちの活動と少し離れた地域の皆さまと繋がることができました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.106 団体名 うなかふえ	事業名称 カフェを通じた多世代交流会
補助金使用額 50,294円	内 容 毎週土曜日午後1:00～3:30まで宇奈根地区会館の一部をお借りしてカフェを運営しています。どなたでも来ていただき地域の方々と顔見知りになりコミュニケーションを深めてもらいたいです。また、年一回のイベントも計画しています。（昨年は横笛コンサートを行いました。）
補助事業に要した経費 189,931円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 カフェ事業は予定通りにでき、講演会も地域の行事と重なってしまっ たが、予定していた参加人数はあった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.107 団体名 喜多見わんわんパトロール隊	事業名称 喜多見わんわんパトロール隊の仲間づくり、まちづくり事業
補助金使用額 67,908円	内 容 愛犬と共に毎日の散歩時の地域のパトロールを行い、登下校時の児童の見守りや地域の防犯に目を配ります。また、犬と共に小学校や福祉施設を訪問し、地域の方々に動物とのふれあいの機会を作ります。犬を仲立ちにした仲間同士の繋がりを、地域の人々との関係に広げ、安心・安全なまちづくりのために暮らしやすい環境を育んでいくことを目指します。
補助事業に要した経費 79,358円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 散歩パトロール活動や様々な行事を通じて隊員と地域住民同士の関係を活性化することができた。特に地域の小学校でのふれあい教室では隊の活動が啓蒙でき、児童との関係作りに繋がった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.108 団体名 砧南グリーンズ	事業名称 みずとみどりとみなみを見守る学校ビオトープ作り
補助金使用額 216,641円	内 容 砧南小学校の保護者・卒業生の保護者・地域の人が連携し、子どもたちとともに安心して毎日を送れるよう学校ビオトープを大人と子どもが協力して作る「みんなのみなみ池ひろばの会」を毎月1回砧南小学校の校庭の一角で開催する。ひろばや校区内の自然観察とスケッチ、自然素材をデザインしたステンシル作成、夜の昆虫観察会を実施する。多摩川子どもシンポジウムで年度の活動成果を子どもに発表してもらう。
補助事業に要した経費 260,571円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 毎回、楽しく開催でき、「多摩川子どもシンポジウムin世田谷」では素晴らしい発表ができ、世田谷区長はじめ、多くの地域の方の参加が得られ交流もできたから。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 その他(協力・連携を予定していた砧南小学童父母会は現在組織がなく、協力・連携ができなかった)

No.109 団体名 野川ドッグエリアの会	事業名称 犬の飼い主を中心に地域ネットワークをつくり、防犯やマナー向上をめざす
補助金使用額 236,378円	内 容 14年目に入った小規模ドッグラン「ドッグエリアのがわ」を毎月1回の週末、土日午後3時間ずつ実施します(8月をのぞく)。また、年数回しつけとマナーアップ講座を開催し、それらを拠点にマナー向上の啓発を行います。この「ドッグエリアのがわ」を発信地として、広くペットの存在も含めた防犯・災害対策も考えます。さらに喜多見北部町会や地域団体との連携を深め、防災活動や地域清掃で協力していきます。
補助事業に要した経費 285,571円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 月1回の小規模ドッグラン「ドッグエリアのがわ」は15年目に突入。感染症による制約が解消され、年間利用者数はのべ1628名と前年比88%。1日100人以上の利用が4会。天候によって50人を切る日もあり屋外イベントの限界もあるが、リピーター増加など地域への定着は感じられる。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 その他(意見交換を通じて、相互の団体運営の向上を図った)

No.110 団体名 【ご当地】家族会	事業名称 「地域の家族」として、あい三（挨拶他）と相談会及びはしん（情報発信）を日常の運動とし、ほかに、具体的なイベント（寄席、セミナー、サロン、祭り等）を企画・実施する事業
補助金使用額 175,540円	内 容 日常の運動（あい三、挨拶、思いやり、支援。なんでも相談会・問題解決、はしんを中心に、①寄席（笑いの受け渡し体験、落語参道楽塾、今・ご縁寄席、寄席、ぼんじゅう亭）②セミナー（教え学ぶ体験、在日外国人に日本語の日常会話、Gpdca、清志凡セミナー）③祭り（多くの人との交流体験、商店街節分豆まき隊）④サロン（少数の人との交流体験、街・コミ・サロン）
補助事業に要した経費 208,880円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった C	その理由 会長の体調不良（手術・入院）で9月まで活動が思うようにできなかった。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった C	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.111 団体名 NPO煌めく返り花	事業名称 ぐるぐるキヌタ
補助金使用額 174, 990円	内 容 ぐるぐるキヌタは、世田谷区砧4丁目で活動する3つの団体が共同して開催するイベントです。年間3回行い、子供から90差異が参加します。活動場所がそれぞれ徒歩1分以内にあるという利を生かしています。 3つの団体それぞれのイベント内容は、お茶処、古本市、クッキー販売、健康相談、焼きマシュマロ、フリーマーケット、みんなでダンスなどが予定されています。 参加者には、3箇所をぐるぐる歩き、各所のイベントに参加し、知り合いを増やしてもらいます。そして、各団体の活動を知り、頼り先の1つにしてみたいと考えています。
補助事業に要した経費 174, 990円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 5月:天気不良であったが、近隣住民の方々が多く参加した。3団体が1か所に集まりクロージングイベントをした際は、各団体に関連する人たちに加えて近隣住民も多く集まり市民のつながりができた。健康相談に対する来訪者が多く、地域貢献できた。引っ越ししてきたばかりの市民同士の交流が図られていた。 9月:暑さ対策のエリアでは涼みながら市民同士の交流が図られていた。健康相談の需要があり、人が途切れなかった。クロージングイベントの巨大シャボン玉は市民の特技が生かされた上に子供も大人も高齢者も障がい者も楽しむことができていた。 12月:5月、9月と繰り返し続けて参加してくださる市民の方がおり、さらに知りあいを連れ立って参加してくれており、つながりが広がっていく様を感じられた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.113 団体名 砧町町会	事業名称 砧町町会納涼夏祭り
補助金使用額 203,700円	内 容 砧町町会納涼夏祭りは、毎年7月、地区の中心である三峯神社に併設された三峯講演公園を会場に、40年以上継続して開催している、地区の重要なイベントの一つです。参加者は、地区の親子、子供たちを中心に延べ5000人以上に及び、夏前から、山野小学校PTA、消防団第5分団、山野おやじネット、障害者福祉施設、高齢者福祉施設等と協同で準備を進めています。4月から準備する中で、各団体間で様々な意見交換を積み重ね、祭りを作り上げることで、コミュニティが醸成され、地区の結束が固まることに繋がります。
補助事業に要した経費 1,224,163円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 コロナ禍の影響で4年ぶりの納涼夏祭りでは、以前にもまし各団体の協力体制が強固なものになっており、地域の子どもたちが楽しく過ごせるように協力し合うことができ、また、新しく参加していただく方も新たな絆を作ることが今回できました。 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板に、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.114 団体名 砧むらおばちゃん会議	事業名称 くつろぎ処：おおがいさんち
補助金使用額 182,760円	内 容 地域の人が年齢、性別に係わりなく、助け合う関係性を培うことで、高齢者が地域で元気に長生きし、子どもや子どもを持つ家庭にとっても安全で楽しい地域になっていくように長期的に継続できるようにしたい。砧村だよりを毎月発行、おしゃべり会に多数参加し楽しい時間を過ごしている。
補助事業に要した経費 376,760円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 ・定期的な開催(1月2回のおしゃべり会、月1回のおひとり様研究会、年3回のぐるぐるキヌタ)は全て参加人数が増加している。 ・砧むらだよりの配布は継続的に毎月行い(3月で88号)、砧町会の回覧板の中に入れてもらうので、参加しない人も読んでいると報告がある。 ・警察からのオレオレ詐欺、災害対応(東京都防災ブック)、まちセン、社協、あんすこなどの情報を参加者に伝え、情報の共有をしている。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。

No.115 団体名 給田町会	事業名称 第73回給田町会運動会
補助金使用額 220,678円	内 容 町内にある給田小学校(給田4丁目)と烏山小学校(給田1丁目)の児童とその保護者を中心に、地域住民、高齢者とともに毎年スポーツの日(本年は10月9日(月))に実施する。給田西住宅自治会にも協力依頼をして交流を促進する。また町会未加入者へもポスター、チラシ等で参加を呼びかける。
補助事業に要した経費 883,528円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 朝から雨が降る、続き、体育館で開催しました。館内でできる競技に絞って雨用プログラムにて実施(晴用プログラムの6割程度)しましたが、雨の中でも200人を超える参加者があり、賑やかに進行できました。雨のために制約がありましたが、給田青穂会を中心に婦人会、福寿会、給田西住宅、南住宅自治会の皆様の協力のもと、順調に協議を消化することができました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.116 団体名 ユニバーサルデザインスタンプラリー実行委員会	事業名称 ユニバーサルデザインスタンプラリー
補助金使用額 140,090円	内 容 主に、小学生を対象にした、ユニバーサルデザインの普及啓発イベントを実施する。子供も楽しく学べるよう、スタンプラリー形式で行う。（点字名刺作成コーナー、ボッチャ体験、UDってなんだろうのお話、盲導犬の紹介、車いすでバスに乗ってみよう、手話体験、アイマスク体験）
補助事業に要した経費 140,419円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ禍の影響下、様々な開催方法を模索していたが、そのために得たノウハウや人のネットワークを活かしながら開催することができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.117 団体名 世田谷区立八幡山小学校おやじの会	事業名称 八幡山交流・地域ふれあい活動事業
補助金使用額 184,500円	内 容 町会・PTAと連携・協力した体制によって「ゲーム大会」と「花火大会」を実施する。どちらも実施するにあたり、企画会議を開催。企画会議には町会やPTAからも参加していただき、アイディアや地域住民各層のニーズを持ち寄り、密に連携することにより、町会、PTAとの関係性を深め地域運営のノウハウを共有するとともに、地域人材の育成や町会組織の活性化にも貢献する事業とします。また、防災知識の向上を目的としたプログラムを実施し、地域住民にも防災知識の向上を図るようにする。
補助事業に要した経費 208,500円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 新型コロナウイルス感染症の影響も軽微になり、年間計画をしていた事業すべて開催出来ました。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった B	その理由 事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.118 団体名 親水テラス音楽会実行委員会	事業名称 絆をつなぐ ‘ ‘いこいのコンサート’
補助金使用額 242, 500円	内 容 10月開催の「いこいのコンサート」は、地域の憩いの場である祖師谷公園の親水テラスをステージとして活かし20回目を迎える。地域団体による模擬店が賑わいをつくり、オープニングは中学校吹奏楽部の演奏を楽しみ、メインはプロの演奏を堪能できる音楽空間づくりを大事にし、野外フェスをイメージした地域交流事業。 2月開催予定の「吹奏楽セミナー」は、中学校を会場としてお借りし、児童生徒も一般の楽器愛好者も共にプロの指導と演奏に接する。世代を超え音楽に親しむ者同士、真剣な眼差しと向上心を感じあう地域交流事業。これを機に「いこいのコンサート」への参加や実行委員会に参加するメンバーを募る。
補助事業に要した経費 658, 573円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 コロナ禍による4年ぶりの開催は、都立公園の「都民利用の推進」に伴う祖師谷公園の協力や、自治会、地域団体や事業者との変わらない連携で順調に準備できた。しかし10月15日コンサート当日は雨天により中止せざるを得なかったため、桜の時期の3月に自治会と同時主催することが確認でき、実行委員会の連携が深められた。また、初めてコンサートに出演する千歳小学校吹奏楽団での「吹奏楽セミナー」は、内容の濃い音楽交流ができ、地域交流の発信を重ねることができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力した。 ・当該事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.119 団体名 特定非営利活動法人 芦花公園花の丘友の会	事業名称 花いっぱい公園づくりと活気ある地域活動の場所づくり
補助金使用額 123,524円	内 容 上記の花壇を季節ごとに整備保全して魅力ある憩いの場を提供。季節感のある花の丘フェスタを開催、地域住民参加によるフリーマーケットや、地域商店街の協力のもと模擬店を開催し、都立公園の集客を促す。
補助事業に要した経費 170,104円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 28年間の継続事業なので、特記する事業はないが、新型コロナウイルス感染防止のため、いろいろなイベントは休止したが、花壇の作業のみ毎週日曜日の午前中に行った。この作業を見て参加したいという区民の方々が増え、会員数が多くなり活気があふれている。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力した。 ・当該事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。

No.120		事業名称	地域と芦花小学生・芦花中学生の結びつきを強め災害、防犯に強いまちづくり
団体名	芦花サポーターズ	内 容	・地域で開催されるイベントに中学のアコースティックギター部が参加しギターの演奏をする。区民センターイベントや学校行事(学芸発表会)で生け花の展示作品を地域の方と共同で制作を行えるようにする。 ・地域の方同士、地域の方による中学生へのスポーツ指導や交流などをできるようにする。 ・地域の方による小学生や中学生の通学時の見守りのお手伝いをする。 ・地域の方同士の交流をスポーツなどを通しての場をつくる。 ・自習室を開催する。地域の方による運営により、中学生と地域の方との顔見知りを作る事になる。地域の方からは、「あ、あの子は」と生徒たちの見守りにつながり、子どもからは「あの自習室の方」と挨拶や災害時に協力するなどの結びつきが強まる。 ・「わんわんパトロール」では子どもたちの登下校の時間に合わせて、犬の散歩をしてもらう。子どもたちの見守り、犬を通して地域の方を知ってもらえることになる。
補助金使用額	201,760円	補助事業に要した経費	341,887円
事業評価	A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由	ワンワンパトロールはPTAとして停止していたが当方からの声がけにより、復活し、挨拶運動への参加も増加。芦花中生け花部への関心も高まり文化祭や区民センターまつりなどの際に、こちらからではなく声がけいただけるようになった。
連携・協力・協働の評価	A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由	・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.122 団体名 烏山地域あいさつキャンペーン推進委員会	事業名称 烏山地域あいさつキャンペーン
補助金使用額 143,770円	内 容 児童・生徒を含めPTA、地域協力者を含め、町会・自治会、商店街や公共機関などの協力・連携の推進により、商店街での街頭放送でのアナウンス、各校正門においてキャンペーンビブスを身に付け、のぼり旗を持ったり、掲げたりし、また昨年度購入したキャンペーンフラッグを行内などに掲げ、あいさつ活動を盛り上げ地域ぐるみでPRを行っていく。
補助事業に要した経費 143,770円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 あいさつをすすめるにあたり、何が必要かを検討するとともに、毎学期の2週目にあいさつキャンペーンをどの学校でも行う事が出来た。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.123 団体名 給田小わんわんパトロール	事業名称 子どもたちの安全を見守り、犯罪に強い地域を作るわんわんパトロール！
補助金使用額	内 容 お揃いのバンダナを愛犬や飼い主さんが装着してパトロールしている。 （コロナウィルス感染症拡大以前は給田小学校の児童に協力をしてもらい作成した）
補助事業に要した経費	0円 22,675円 バンダナを見て給田小の子どもたちが「わんわんパトロールだ！」保護者は「ありがとうございます」 と声をかけていただくことも多く、メンバー同士が挨拶をするということが日常的に行われている。 給田小の保護者に不審者情報が流れるとPTA校外委員会から連絡が入り、メンバーに一斉メールでパトロールの強化をお願いしている。また、愛犬が家族の一員というだけでなく、 社会に一員として受け入れてもらえるようにマナーを守ってパトロールするように啓蒙を行っている。 給田小の児童に描いてもらったポスターを地域に貼り協力してもらえようお知らせしている。 年に一度、メンバーの愛犬の写真入りの広報誌を、給田小、町会にご協力いただきき地域に 2000部配布している。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B	その理由 昨年実施出来なかった、給田小の児童によるバンダナの製作や、メンバー募集のポスター作りをおこなうことができた。1年生の児童131名が犬たちと触れ合う授業への協力も行われ成果を得ることが出来た。また、6月にはBS朝日の「ネコいぬワイドショー」の取材を受け8月に放送された。今年度で20年目を迎える活動に、このような息の長い取り組みを続けていること、給田小の教育活動にも積極的に協力していることに対して、12月 16日に世田谷区教育委員会より表彰していただきました。メンバー犬の高齢化などで登録数は多少減少したが給田小を中心とした活動を行っているため、今年度も126匹のメンバーに協力をしてもらうことが出来た。成城警察がボランティア保険に入ってくれるなど警察との連携も続いている 子ども達と触れ合うための安心安全教室の開催は講師の調整がつかず中止したが、散歩中の声掛けは活性化されている。

連携・協力・協働の評価

- A 目標以上に連携・協力できた
- B 目標としていた程度に連携・協力できた
- C 目標としていた程、連携・協力できなかった

B

その理由

- ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。
- ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。
- ・町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。
- ・給田小学校の授業協力で児童との交流の輪が広がった。

No.124 団体名 桐の会	事業名称 箏曲に親しむ第47回桐の会演奏会 学校と地域をつなぐ「おこと」の演奏
補助金使用額 242, 500円 補助事業に要した経費 508, 237円	内 容 学校関係者による地域活動として開催されている夏休みの体験教室をきっかけに箏をはじめた烏山北小、武蔵丘小、芦花小の生徒が中学、高校生となり、現役小学生と一緒に演奏する「沖縄の風」に三線を取りいれてみる。コロナ禍も5類となり成人会員も復活、演目にも年代的幅が戻った。ホルン、かみそのウクレレ、芦花中のアコースティックギター、日本女子体育大学・新体操部の皆さんと箏、尺八とコラボ。烏山の民話の弾き語り、烏山北小PTAコーラス、「烏山地域キャラクターからびよんのうた」のフィナーレと”烏山”をまとめて楽しんでいただき、学校と地域をつなぎ幅広い世代間の交流と活躍の場とする。
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B	その理由 本番三日前に主催者が救急搬送されるアクシデントが発生、緊急時帝に即対応してくださった運営協議会を始め、学校関係、町会、自治会の皆様の多大な支援、協力を得る事で演奏会はスムーズに進行する事が出来た。応援の気持ちと緊張感に包まれた会場で古参門下生と小中高校生が心を寄せ合い日頃の成果を発揮する事が出来た。千秋楽のご挨拶に添えて下さったトッププロの尺八本曲「鶴の巣籠・奥州伝」は素晴らしく、大きな反響を呼ぶ事が出来た。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.125 団体名 コーシャハイム千歳烏山連携の会	事業名称 コーシャハイム千歳烏山連携の会あんしん・にぎわい・交流事業
補助金使用額 213,549円	内 容 ①防災イベントの内容強化～かまどベンチを利用した炊き出し訓練の実施 コーシャハイム千歳烏山の充実した非常用設備のうち、特にかまどベンチは、実際に使用し、いざという時に備えることが必要で、鍋などの資材を揃え、イベントで実地訓練を兼て使用したい。 ②ウィンターイルミネーション コーシャハイム千歳烏山の敷地内のクリスマスイルミネーションは、単に町に彩りを備えるだけではなく、防犯上の効果も実感され、地域の人々の好評を得ています。イルミネーション設置による直接的効果は人の目が増えることです。加えて地域横断的なイルミネーションの設置と継続てきな点灯は住民が地域に関心を払っていること近隣同士の関わりが深いこと敷地内の管理が行き届いていること等を対外的に示すことにつながるでしょう。今回 規模を拡大・延長することで夜間の団地内通行を、より楽しく安全なものとしたと思います。
補助事業に要した経費 218,549円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B その理由 ①防災イベントの内容強化: かまどベンチを利用した炊き出し訓練を実施し多くの参加を得た。コーシャハイム千歳烏山の充実した非常用設備のうち、特にかまどベンチは、実際に使用し、いざという時に備えることが必要である。補助金で鍋などの資材を揃え、イベントで実地訓練を兼て使用することで、広く地域にかまどベンチの存在を知らしめ、いざという時の活用に備えることができた。 ②ウィンターイルミネーション: コーシャハイム千歳烏山では、敷地内のクリスマスイルミネーションの灯が防犯効果を高めるとともに、イルミネーションが地域の風景に潤いを与える効果をもたらした。加えて、地域横断的なイルミネーションの設置と継続的な点灯は、住民が地域に関心を払っていること、近隣住民同士の関わりが深いこと、敷地内の管理が行き届いている事を対外的に示し、また、点灯期間を3月半ばまで延長することで、人の目や手が感じられる期間も増え、安全・安心な暮らしづくりの一助として効果を上げた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。

No.126 団体名 上北沢小学校おやじの会	事業名称 上北沢小学校の児童たちの健全育成
補助金使用額 110,949円	内 容 学校や地域とも連携を図り、児童の健全な育成に寄与しているような各主事催事を展開します。当会が主催で行う「おやキャン」では、保護者から離れ、集団生活を送る体験を通じて、災害発生時から保護者が迎えに来るまで避難所で安全に待機できるようにするとともに、そのために必要な「自ら考え、周りと協力できる力」を育むことを目的としています。担架による救助や水の運搬などを運動会形式で楽しく体験したり、キャンプファイヤー、備蓄米を使用した食事体験、テント及び体育館への宿泊体験などを行います。また、「火の用心」では近隣の夜回りでは火の用心を呼びかけることにより防災意識を高め、安全・安心なまちづくりの一助となることを目指しています。その他、小学校・町会・児童館が主催する各種行事への協力・参加を通じて地域の活性化にも寄与します。
補助事業に要した経費 141,671円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 コロナ禍が収束し、予定していた催事を計画通り実施できた ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。

No.127 団体名 地域のきずな実行委員会	事業名称 つなげよう地域の力！広げよう子どもの体験
補助金使用額 222,570円	内 容 地元3小学校の特性を活かし、コロナ感染に留意しながら、実施する。三密を避けて、武蔵野小学校ではプールで水生生物観察会、給田小学校は古民家で節分行事、烏山北小学校ではひな人形飾りをして、校庭では縄跳びをして、体力アップを図る。
補助事業に要した経費 280,155円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった A	その理由 コロナ流行でここ数年北烏山9丁目屋敷林でのイベントが出来なかった。今年は同所でさせていただくことが出来たうえ、節分行事を給田小学校校門の2か所で催行出来て大変うれしい。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった A	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、または共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフとして協力した。 ・当該事業に、スタッフとして協力してもらった。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。

No.128 団体名 チーム烏山音楽事業部	事業名称 烏山まちづくりミュージックホリデー
補助金使用額 237,569円	内 容 町会や自治会や諸団体とともに音楽を通じたイベントを企画、実施する中でコミュニティの醸成やまちづくり活動を実践していく。連携している町会・自治会や団体にスタッフとして協力してもらうことで、日頃行うまちづくり活動や町会・自治会活動をスタッフ同士に知ってもらう機会とする。また、楽しみのお祭りや地域への親しみの部分を大切にしていって地元公募のバンドを募り、旧来の町会や自治会にとどまらず、幅広い地域団体との連携を深めるイベントとする。
補助事業に要した経費 246,080円	
事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程度成果を得られなかった A	その理由 町会加入促進事業として新規加入者が得られた。追加事業において成城警察や地域の団体と連携ができた。
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程度、連携・協力できなかった A	その理由 ・町会・自治会の掲示板に、チラシまたはポスター等を掲示してもらった。 町会・自治会の回覧板に、チラシまたはポスター等を回覧してもらった。

No.129 団体名 八幡山青年会	事業名称 八幡山青年会 子ども囃子
補助金使用額 242,500円	内 容 地域の小中学生を中心に子ども囃子を結成し、伝統芸能の祭囃子を演奏して、広く地域の住民に伝えている。毎週末の練習やイベントへの参加を通して、子ども囃子で活動する子ども達が学校の枠を越えた知り合いを増やし、その保護者はもとより、幅の広い年齢層の顔見知りも増やしている。八幡山の夏・秋祭り、八幡社の七五三、新樹苑のもちつき大会等で祭囃子を演奏し、イベントを盛り上げるとともに、伝統芸能の祭囃子を広めている。 一方で、祭囃子で使用する篠笛や太鼓のバチ、祭装束等は、本番や練習により消耗 してしまう。今後も地域で子ども囃子の活動を続けていくためには、祭囃子演奏用具等を定期的に更新していくとともに、恒常的な練習場所の確保が必要となる。
補助事業に要した経費 282,932円	事業評価 A 計画通り実施でき、予想以上の成果を得られた B ほぼ計画どおりに実施でき、予想していた程度の成果を得られた C 計画どおりに実施することができず、予想していた程成果を得られなかった B
連携・協力・協働の評価 A 目標以上に連携・協力できた B 目標としていた程度に連携・協力できた C 目標としていた程、連携・協力できなかった B	その理由 ・事業の企画・運営に連携団体と一緒に取り組んだ、又は共同で主催した。 ・連携団体の主催する事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力した。 ・当該事業に、スタッフ又はお手伝いとして協力してもらった。 ・町会・自治会の会議で、チラシ等を配布し、説明した。 ・町会・自治会の掲示板に、チラシ又はポスター等を掲示してもらった。 ・町会・自治会の回覧板で、チラシ又はポスター等を回覧してもらった。